第３章 地域別構想

３－１ 地域別構想について

市全体の都市づくりの方針である「全体構想」を基本として、地域の特性や課題をふまえた地域の将来都市像として定め、地域住民と行政が協働で地域づくりを進めるための方針となります。

なお、各地域の目標を実現するための方針と施策は、各々の地域単位で定めていますが、各地域の連携を強化し一体性を高める施策・事業についても推進を図るものとし、そのために必要となる道路や河川の整備など複数の地域にまたがる施策・事業については、地域間の連携やつながりなどに十分配慮した取組みを進めます。また、各地域での暮らしを支える拠点についても、公共交通などによる拠点間の連携・補完を図りながら、拠点形成を図るものとします。

地域区分設定の考え方

地域区分の設定は、地域の特性に合ったまちづくりを進める区域となるよう圏域人口や社会的圏域、歴史的な地域のつながりをふまえ想定される市民の日常生活圏をもとに、設定します。

- 日常生活圏の広がりは、各生活圏の暮らしを支える拠点での都市機能の立地が成立するように、概ね１万人の人口規模を最低限の目安とします。
- 社会的圏域（町丁目、小・中学校区）や歴史的な地域のつながり（昭和 18 年から平成 22 年までの合併の経緯）、地理的条件（地形、道路・河川・鉄道などの分断要素）などを考慮し、地域として一体性があり、住民などにも理解されやすい地域を設定します。
- 上位・関連計画などを勘案し、その境界などを考慮します。

３－２ 地域区分の設定

地域区分設定の考え方で示した日常生活圏の広がりを基本としつつ、以下に示す本市におけるコミュニティ（まちづくり）活動の状況などを考慮し、中学校区を基本に地域区分を設定します。

・　旧町では、これまでの歴史の中で、一体的なまちづくりを推進してきました。
・　地域のまちづくりや要望の提出は、連区単位で行われてきており、各連区がまとまり中学校区を形成しています。
・　災害への対応や地域のまちづくりを市民協働のもとで進めていくには、重要なコミュニティの連合体である連区の単位を意識する必要があります。

なお、各地域（中学校区）と各地域での暮らしを支える拠点配置の関係は以下のとおりです。

- 西部地域、一宮地域、音羽地域、御津地域および小坂井地域については、各地域拠点（国府地区、一宮地区、音羽地区、御津地区および小坂井地区）を中心に地域住民の生活を支えます。
- 中部地域については、歴史的な地域のつながり（昭和18年の合併の経緯）や公共交通の配置状況などをふまえ、中心拠点および地域拠点（八幡地区および国府地区）の3つの拠点で地域住民の生活を支えます。
- 代田地域については、公共交通の配置状況などをふまえ、中心拠点および地域拠点（八幡地区）で地域住民の生活を支えます。
- 中心拠点が含まれる東部地域、南部地域および金屋地域については、広域都市機能が集積する中心拠点を中心に地域住民の生活を支えます。

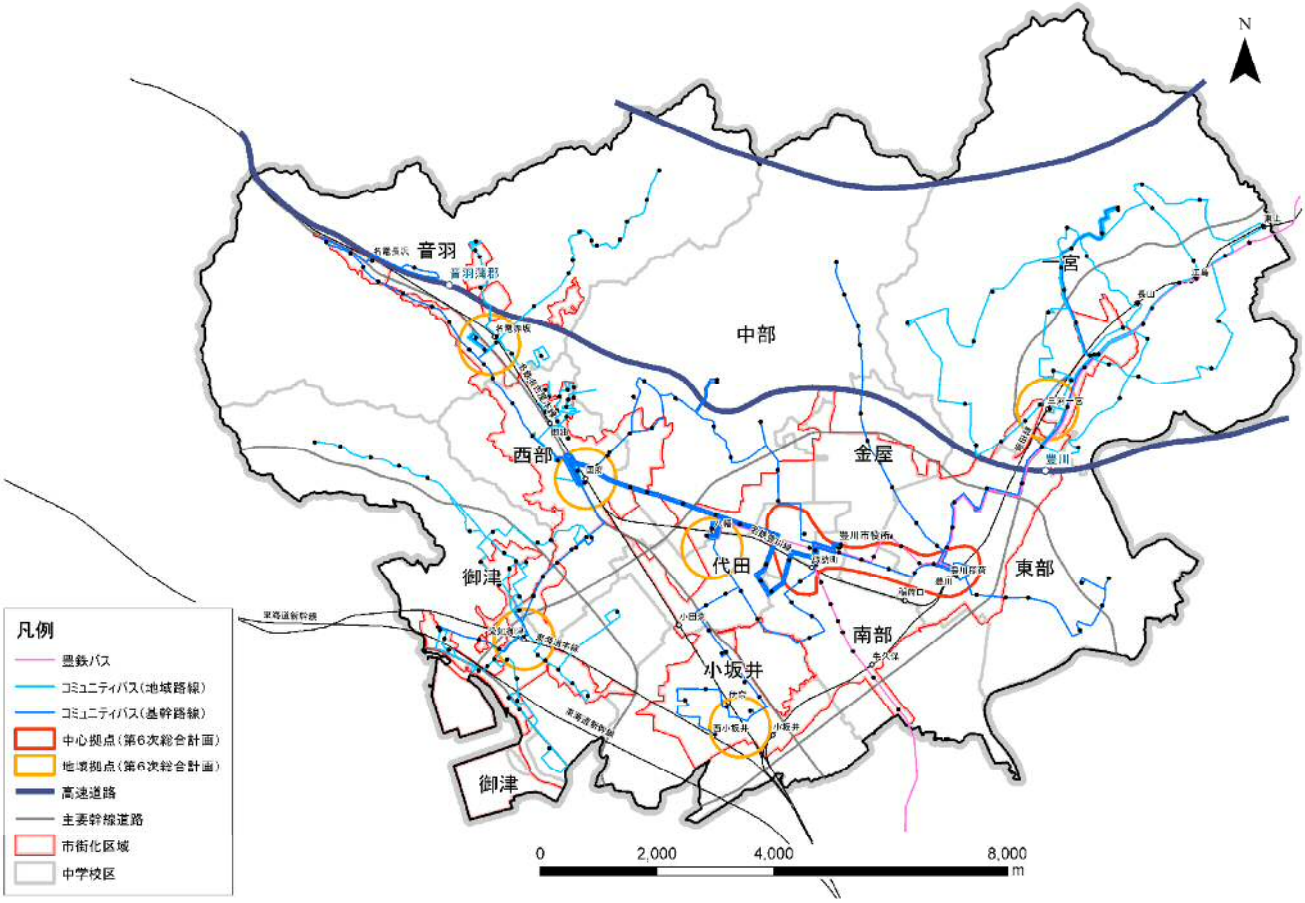


図　地域区分図

表　地域別人口・面積内訳

	東部地域	南部地域	中部地域	西部地域	代田地域	金屋地域	一宮地域	音羽地域	御津地域	小坂井地域	合計
人口（人）	29,659	24,726	16,573	21,601	14,177	17,354	16,407	8,992	13,482	21,973	184,944
面積（ha）	1,354.3	791.9	2,537.5	844.9	453.4	562.0	3,661.0	2,965.0	1,917.0	992.0	16,079.0

※人口は平成27年3月時点の住民基本台帳による

３－３ 地域のまちづくりの目標と市全体の都市づくりの目標との関係

地域別のまちづくりの目標は、市全体の都市づくりの目標および地域の現況や課題をふまえ、以下のとおり設定します。

＜都市づくりの目標＞

とよかわを形づくる生活圏ごとに様々な機能がコンパクトにまとまった都市づくり	**多様な産業が集積、連携し、多彩な交流が育まれる都市づくり**	**市民がいつまでも安全で安心して、暮らし続けることができる都市づくり**	**山並みや田園風景、海や川を守り、都市の個性が輝く質の高い都市づくり**

＜地域のまちづくりの目標＞

東部	中心拠点にふさわしい商業・業務機能の誘導、豊川市の顔となるまちづくり	広域的な交通結節点の強化･活用とアクセス道路のネットワーク構築	安全でゆとりある生活環境の保全と整備
南部	幹線道路沿道を中心に、にぎわいと交流のある市街地の形成	安全でゆとりある居住環境の確保	緑と調和したうるおいのある環境・景観の形成
中部	医療機能を核にしたにぎわいある地域拠点の形成	多様な地域資源を活かした交流促進と快適な居住環境の創出	憩いと集いを生み出す緑の拠点の形成
西部	交通利便性を活かした便利で暮らしやすい地域拠点の形成	多様な産業の集積・連携強化と安全で快適な居住環境の確保	歴史や水と緑が共生した質の高い交流の場の保全・整備
代田	諏訪地区におけるにぎわいのある中心拠点の形成	八幡地区にふさわしい地域拠点としての都市環境の創出	緑の保全と優れた交通利便性を活かしたまちづくり
金屋	市民生活と多彩な交流を支える中心拠点としての多様な機能の整備	産業活力の創出と安全でゆとりある生活環境の保全と整備	身近な緑や水辺が調和した景観とやすらぎのある地域環境の形成
一宮	既存ストックを活かした利便性の高い地域拠点の形成	広域道路ネットワークの整備と連携した活力あるまちづくり	水と緑のネットワーク形成による憩いと集いの場づくり
音羽	交通利便性を活かした便利で活力ある地域拠点の形成	宿場町の歴史を活かした多彩な交流によるにぎわいづくり	豊かな自然環境の保全と、自然と共生した安全で快適なまちづくり
御津	鉄道駅を中心とした地域住民の生活を支える地域拠点の形成	広域道路ネットワークの整備と連携した活力あるまちづくり	海と緑に映える、快適でうるおいあるまちづくり
小坂井	交通利便性を活かしたにぎわいある地域拠点の形成	広域道路ネットワークの整備と連携したまちづくり	緑が映える景観とうるおいある居住空間の整備

東部地域

東名高速道路豊川ＩＣを有し、本市を代表する観光資源である豊川稲荷とともに、古くから街なみを形成する地域であり、中心拠点の豊川地区があります。

（都）前芝豊川線（国道151号）西側には市街化区域が指定されており、東側には農地が分布しています。

本地域では、ＪＲ豊川駅・名鉄豊川稲荷駅という恵まれた交通条件や豊川稲荷をはじめとする歴史・文化的資源を活かしながら、本市の東の玄関口づくりを進め、中心拠点の活性化、良好な住環境づくりを図り、東名高速道路豊川ＩＣ周辺では産業集積のまちづくりを目指します。

豊川稲荷

ＪＲ豊川駅

１．地域の目標と方針

地域の特性

・4小学校区で構成され、市街地から郊外部まで地域内でも地区ごとに特徴が多様です。
・豊川稲荷を中心にした中心市街地であり、ＪＲ豊川駅、豊川稲荷を中心に商業・業務施設が集積し、歴史ある街なみを形成する中心拠点となっています。
・豊川稲荷表参道地区計画の区域内において店舗ファサード整備が進んでいます。
・東名高速道路豊川ＩＣ、（都）前芝豊川線（国道151号）が通過し、広域的な本市の東の交通結節点となっています。
・豊川駅東土地区画整理事業が施行中であり、住宅地としての基盤整備が進んでいます。
・（都）前芝豊川線以東の多くの地域が農用地となっています。
・（都）前芝豊川線東側の市街化区域で、計画的な下水道整備を推進しています。

地域の課題

・豊川駅東土地区画整理事業の早期完成と関連する幹線道路の整備促進（（都）姫街道線、（都）豊川牧野線など）
・ＪＲ豊川駅周辺地区（中心拠点）の活性化策の推進と防災性の向上
・市の観光資源としての豊川稲荷の活用

・（都）豊川新城線（国道151号バイパス）の整備にあわせた東名高速道路豊川ＩＣ周辺への産業施設の集積
・広域幹線道路の立体交差化の事業化

・三上緑地をはじめとした河川緑地などの活用
・河川改修による治水事業の充実
・市街化区域内の下水道整備の推進
・街なかの公園の多機能化

目標と方針

中心拠点にふさわしい商業・業務機能の誘導、豊川市の顔となるまちづくり

①豊川駅東土地区画整理事業の推進
②商店街の活性化
③中心拠点としての機能充実

広域的な交通結節点の強化・活用とアクセス道路のネットワーク構築

①幹線道路ネットワークの早期整備の促進
②豊川ＩＣ周辺における製造業･流通業などの集積

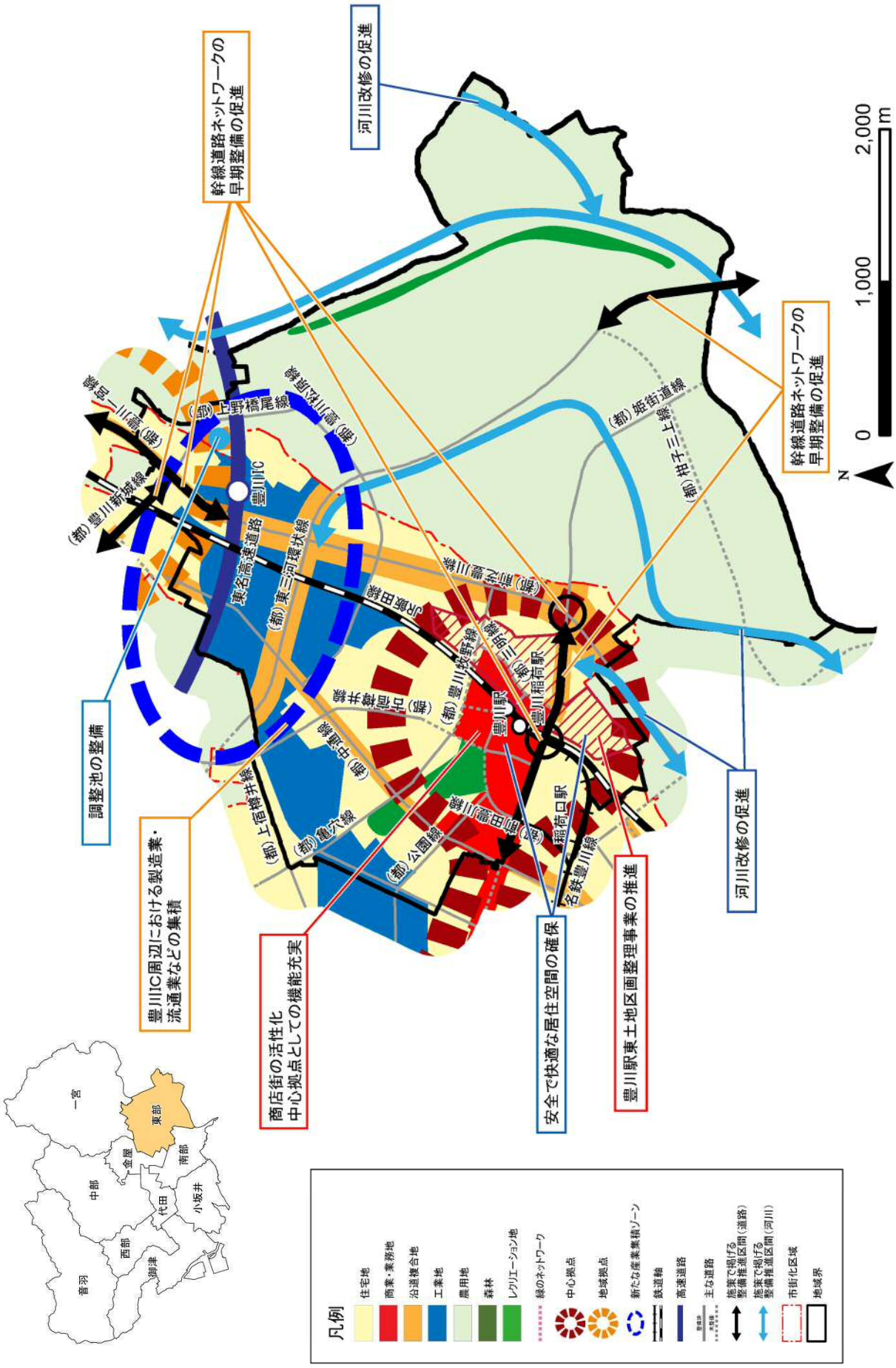
安全でゆとりある生活環境の保全と整備

①安全で快適な居住空間の確保
②河川改修の促進

２．方針と施策

目標	方針	施策（■行政主体　◎市民協働）
中心拠点にふさわしい商業・業務機能の誘導、豊川市の顔となるまちづくり	①豊川駅東土地区画整理事業の推進	■ 豊川駅東土地区画整理事業を推進し、事業区域内の基盤整備を推進します。 （都）三明線、（都）豊川牧野線、三明公園　など
	②商店街の活性化	■ ＪＲ豊川駅と豊川稲荷周辺において、地域住民の生活を支えるとともに、観光資源（豊川稲荷）を活かした商業機能を充実させることなどにより、中心市街地にふさわしい都市機能の誘導・維持を図ります。 ■ 市内外からの集客を一層図るため、駅周辺の環境整備、道路整備および無電柱化などのおもてなし空間の整備などを通じた都市機能の向上を図ります。 ◎ 商店街やまちづくり会社などが協力し、にぎわい創出を図る事業を推進するとともに、若手人材の育成を通じて地域が主体的に事業を実施する環境を整えます。
	③中心拠点としての機能充実	■ ＪＲ豊川駅周辺については、豊川稲荷という観光資源を活かしながら、豊川市の顔となる中心拠点としての機能充実を図ります。
広域的な交通結節点の強化・活用とアクセス道路のネットワーク構築	①幹線道路ネットワークの早期整備の促進	■ 広域幹線道路の整備に向け、地域および事業主体などの関係機関に対して働きかけます。 （都）東三河環状線の豊橋市への事業区間延伸の早期事業着手 （都）姫街道線とＪＲ飯田線、名鉄豊川線との立体交差事業の早期事業着手 （都）豊川新城線（国道 151 号バイパス）の事業促進 （都）前芝豊川線（国道 151 号）・（都）豊川一宮線（国道 151 号）の事業促進 （都）前芝豊川線（国道 151 号）と（都）姫街道線との立体交差化の事業化に向けた検討
	②豊川ＩＣ周辺における製造業・流通業などの集積	■ （都）豊川新城線、新東名高速道路の整備を活かし、東名高速道路豊川ＩＣ周辺地域における製造業・流通業などの集積のため、企業誘致を検討します。 ■ 豊川ＩＣ周辺の工業地は、周辺の住環境との調和を図る一方、地区内での住工混在による環境悪化を招かないよう、開発・建築にあたっては適切な規制・誘導を図ります。
安全でゆとりある生活環境の保全と整備	①安全で快適な居住空間の確保	■ 既存の住宅地の環境保全を図るとともに、豊川駅東土地区画整理事業を推進し、安全で快適な居住空間を確保します。 ■ 中心拠点における建物の防災機能を高めるとともに、高齢化に対応したまちなか居住空間を形成します。 ■ （都）前芝豊川線東側の市街化区域においては、豊川市下水道計画に基づき、管渠および調整池の整備を推進します。 ■ 街なかの公園（稲荷公園）について、多機能化（憩い・スポーツ・イベントなどへの対応）することにより、街なかの活性化を図ります。
	②河川改修の促進	■ 古川、善光寺川、間川の改修を促進します。

３．まちづくりの方針図


幹線道路ネットワークの早期整備の促進
河川改修の促進
幹線道路ネットワークの早期整備の促進
河川改修の促進
調整池の整備
豊川IC周辺における製造業・流通業などの集積
商店街の活性化
中心拠点としての機能充実
安全で快適な居住空間の確保
豊川駅東土地区画整理事業の推進
豊川IC
豊川駅
稲荷口駅
豊川稲荷駅
東名高速道路
東三河環状線
(都)豊川新城線
(都)上野橋尾線
(都)姫街道線
(都)柑子三上線
(都)上宿橋井線
(都)公園線
(都)亀穴線
(都)中道線
(都)西豊橋井線
(都)豊川蔵前線
(都)豊川稲荷線
(都)豊川蔵三線
(都)豊川蔵一線
京阪田線
名鉄豊川線
0
1,000
2,000
m
N
一宮
東部
金屋
南部
中部
代田
小坂井
西部
御津
音羽
凡例
住宅地
商業・業務地
沿道複合地
工業地
農用地
森林
レクリエーション地
緑のネットワーク
中心拠点
地域拠点
新たな産業集積ゾーン
鉄道軸
高速道路
主な道路
施策で掲げる整備推進区間(道路)
施策で掲げる整備推進区間(河川)
市街化区域
地域界

南部地域

昭和18年の市制施行前から街なみを形成する牛久保地区や、中心拠点の諏訪地区がある地域であり住宅地としての形成も進んでいます。

（都）前芝豊川線（国道151号）北側には市街化区域が指定されており、南側には農地が分布しています。

本地域では、諏訪地区において、にぎわい創出のために名鉄諏訪町駅を中心に商業・業務機能の集積を図り、市街地では良好な住宅環境の保全を図るとともに、歴史ある街なみや河川空間を活かしたまちづくりを目指します。

牛久保若葉祭（うなごうじ祭）

名鉄諏訪町駅

１．地域の目標と方針

地域の特性

・市街化区域においては、中心拠点および幹線道路沿道をはじめとした商業・業務施設が集積する地区と、その周辺部の住宅地から形成されています。
・市街化区域の南側の市街化調整区域の多くは、優良な農地が広がっています。
・牛久保地区は、ＪＲ牛久保駅を中心に歴史ある街なみや商業地を形成しています。
・(都)豊橋豊川線、(都)中通線沿道で商業施設の増加がみられます。
・佐奈川沿いでは、ベンチなどの設置や散策路整備が進んでいます。
・地震災害時における危険性の高い地区となるＪＲ牛久保駅周辺において、地域主体の災害に強いまちづくりへの取組みが進んでいます。

地域の課題

・中心拠点の整備促進とにぎわい創出
・ＪＲ牛久保駅へのアクセス確保
・広域幹線道路の立体交差化の事業化

・ＪＲ牛久保駅周辺における防災性の向上と地域への支援
・河川流域の排水改善

・幹線道路である（都）豊橋豊川線、（都）中通線、（都）姫街道線にふさわしい景観・環境の整備
・旧城下町に残る歴史資産の活用と街なみの保全

目標と方針

幹線道路沿道を中心に、にぎわいと交流のある市街地の形成

①鉄道駅周辺および幹線道路沿道への商業・業務機能の集積
②公共交通機関および幹線道路整備によるアクセス性の向上
③中心拠点にふさわしいにぎわい・雇用創出の促進

安全でゆとりある居住環境の確保

①安全・安心な住環境の整備
②ＪＲ牛久保駅周辺における密集市街地の改善
③河川改修の促進

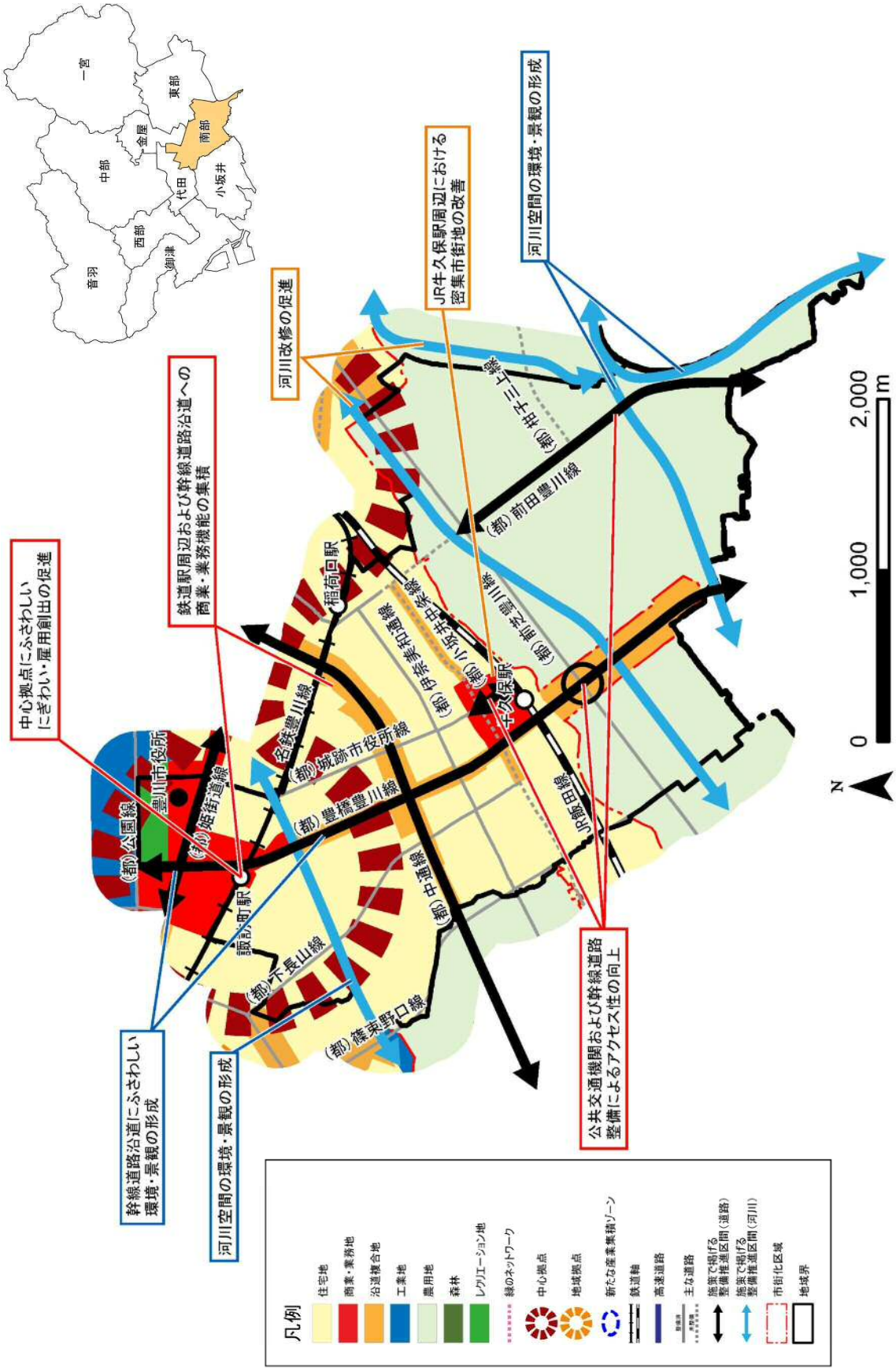
緑と調和したうるおいのある環境・景観の形成

①歴史と緑が融合した環境・景観の形成
②幹線道路沿道にふさわしい環境･景観の形成
③河川空間の環境･景観の形成

２．方針と施策

目標	方針	施策（■行政主体　◎市民協働）
幹線道路沿道を中心に、にぎわいと交流のある市街地の形成	①鉄道駅周辺および幹線道路沿道への商業･業務機能の集積	■　鉄道駅を中心に、地域住民の生活に必要な商業・業務施設の集積を図ります。 ■　（都）豊橋豊川線、（都）中通線を基軸に、沿道に商業・業務機能の誘導を図ります。
	②公共交通機関および幹線道路整備によるアクセス性の向上	■　ＪＲ牛久保駅へのアクセス性を高めるため、（都）城跡市役所線の整備に向けて検討します。 ■　地域間ネットワークを構成する都市計画道路の整備に向け、地域および事業主体などの関係機関に対して働きかけます。 （都）前田豊川線 （都）前芝豊川線（国道 151 号）と（都）豊橋豊川線との立体交差化の事業化に向けた検討
	③中心拠点にふさわしいにぎわい･雇用創出の促進	■　諏訪地区においては、中心拠点形成に向けた商業・業務機能の高密度集積を図るとともに、公共施設の利活用や地場産業の情報発信による雇用創出を図り、人が集まるまちを目指します。
安全でゆとりある居住環境の確保	①安全･安心な住環境の整備	■　諏訪地区における建物の防災機能を高めるとともに、高齢化に対応したまちなか居住空間を形成します。
	②ＪＲ牛久保駅周辺における密集市街地の改善	◎　ＪＲ牛久保駅周辺については、防災性の向上に向けた地域主体の取組みである密集市街地整備事業を推進します。
	③河川改修の促進	■　古川、善光寺川の改修を促進します。
緑と調和したうるおいのある環境・景観の形成	①歴史と緑が融合した環境･景観の形成	■　城下町としての歴史がある牛久保地区にふさわしい景観の形成を図るとともに、伝統行事を活かした地域環境を保全します。
	②幹線道路沿道にふさわしい環境・景観の形成	■　（都）姫街道線、（都）豊橋豊川線、（都）中通線は、本市の交通軸にふさわしい道路環境・景観の形成を図ります。
	③河川空間の環境・景観の形成	■　豊川、豊川放水路の環境・景観の保全、向上を図ります。 ◎　佐奈川の親水空間としての機能向上と、環境・景観の保全・向上を図ります。

３．まちづくりの方針図


一宮
東部
金屋
南部
中部
代田
小坂井
西部
御津
音羽
中心拠点にふさわしい
にぎわい・雇用創出の促進
鉄道駅周辺および幹線道路沿道への
商業・業務機能の集積
河川改修の促進
JR牛久保駅周辺における
密集市街地の改善
河川空間の環境・景観の形成
(都)公園線
豊川市役所
(都)姫街道線
諏訪町駅
稲荷口駅
名鉄豊川線
(都)城跡市役所線
(都)豊橋豊川線
(都)長山線
(都)篠束野口線
(都)中通線
(都)中井線
(都)中井線
(都)牛久保豊川線
(都)前田豊川線
(都)牛久保駅
JR飯田線
幹線道路沿道にふさわしい
環境・景観の形成
河川空間の環境・景観の形成
公共交通機関および幹線道路
整備によるアクセス性の向上
N
0
1,000
2,000
m
凡例
住宅地
商業・業務地
沿道複合地
工業地
農用地
森林
レクリエーション地
緑のネットワーク
中心拠点
地域拠点
新たな産業集積ゾーン
鉄道軸
高速道路
主な道路
施策で掲げる
整備推進区間（道路）
施策で掲げる
整備推進区間（河川）
市街化区域
地域界

中部地域

三河国分寺・国分尼寺跡があり、本市の歴史では古くから三河地方の中心地として発展し、地域には赤塚山公園、豊川市スポーツ公園などの市民の憩いの空間が形成されており、平和公園（仮称）の整備が進んでいます。

北部では千両、平尾地区を中心に山林が広がるほか、地域内に幅広く農地が分布しています。南部においては名鉄八幡駅周辺に市街化区域が指定され、市民病院を中心に、新たなにぎわいが期待されます。

本地域では、北部では自然環境の保全を図るとともに、歴史・文化的資源を活かしながら、南部では医療機能を核にしたまちづくりを目指します。

名鉄八幡駅

三河国分尼寺跡史跡公園

１．地域の目標と方針

地域の特性

・千両、平尾地区を中心に山林が広がるほか、地域内に幅広く優良な農地が広がっています。
・山林部から地域拠点（八幡地区）まで幅広い土地利用が広がっています。
・八幡地区は市民病院への表玄関となる地区であり、新たなにぎわいが期待されます。
・赤塚山公園や豊川市スポーツ公園など、本市を代表する公園・緑地施設が立地し、平和公園（仮称）の整備が進んでいます。
・平尾地区の清掃工場、千両地区の一般廃棄物最終処分場など、市の重要な廃棄物処理施設が配置されています。
・国分寺・尼寺跡、財賀寺などの史跡・文化財が点在しています。
・地域内に穂ノ原工業団地と南千両工業団地の一部が配置されています。
・名鉄八幡駅周辺の下水道整備やバリアフリー化、豊川西部土地区画整理事業が進んでいます。

地域の課題

・市民病院の立地を活かした地域拠点としての機能充実
・豊川工業団地（野路地区）における企業撤退後の跡地利用

・廃棄物処理施設の適正管理
・地域内外をつなぐ道路ネットワークの構築
・低未利用地の有効活用に向けた検討
・市街化区域内の下水道整備の推進と河川改修の促進
・歴史性のある遺構の保全と活用（国分寺・尼寺跡など）

・豊川市スポーツ公園の整備推進
・赤塚山公園などの主要な緑地を連携させた憩い・レクリエーションの拠点づくり

目標と方針

医療機能を核にしたにぎわいある地域拠点の形成

①市民病院へのアクセスのための交通環境の整備推進
②戦略的にぎわい交流エリアの形成

多様な地域資源を活かした交流促進と快適な居住環境の創出

①安全で安心な住環境の整備
②廃棄物処理施設の適正管理
③市街化調整区域の適切な規制と誘導
④道路ネットワークの構築
⑤歴史的な景観･史跡などの保全と活用

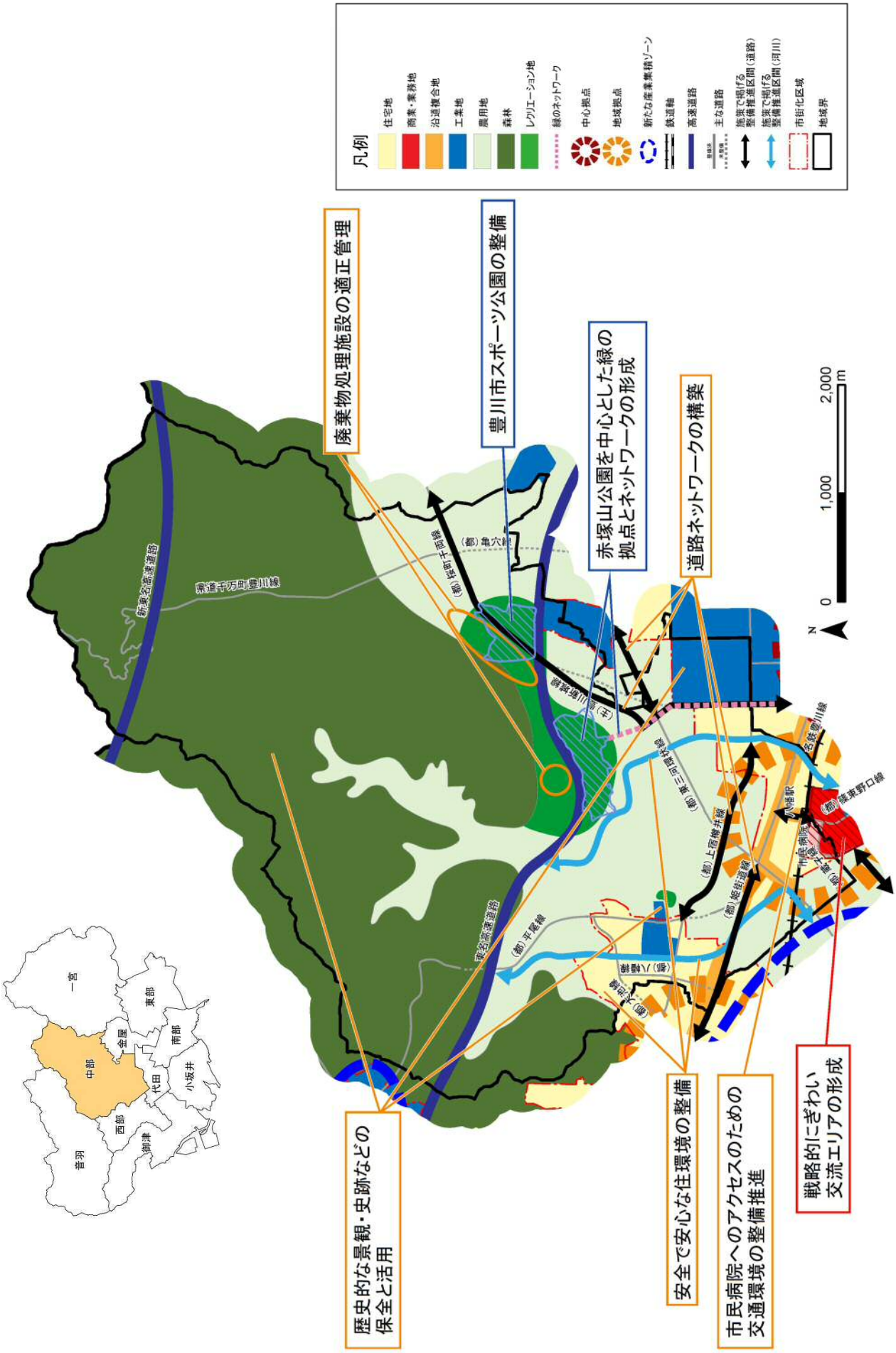
憩いと集いを生み出す緑の拠点の形成

①豊川市スポーツ公園の整備
②赤塚山公園を中心とした緑の拠点とネットワークの形成

２．方針と施策

目標	方針	施策（■行政主体　◎市民協働）
医療機能を核にしたにぎわいある地域拠点の形成	①市民病院へのアクセスのための交通環境の整備推進	■　（都）篠東野口線のバリアフリー化を推進します。
	②戦略的にぎわい交流エリアの形成	■　企業撤退後の豊川工業団地（野路地区）においては、市民病院（医療）や名鉄八幡駅という立地条件を活かし、公共施設、商業、福祉、住宅など多様な機能を集約した複合的な地域拠点として、中心拠点を補完する戦略的にぎわい交流エリアを形成します。 ■　地区計画制度の活用などを通じて、市民病院や工業地、周辺の住環境との適切な調和を図ります。
多様な地域資源を活かした交流促進と快適な居住環境の創出	①安全で安心な住環境の整備	■　豊川西部土地区画整理事業地周辺の第一種低層住居専用地域については、地域の理解、協力を得ながら、まちづくりのルールづくりや必要な基盤整備について推進します。 ■　既存の住宅地の環境保全を図るとともに、豊川西部土地区画整理事業を推進し、安全で快適な居住空間を確保します。 ■　白川、西古瀬川は、自然環境の保全と計画的な改修を促進します。 ■　野口・市田地区においては、計画的な下水道整備を推進します。
	②廃棄物処理施設の適正管理	■　清掃工場や最終処分場など一般廃棄物処理施設の立地場所周辺の環境保全に努めます。
	③市街化調整区域の適切な規制と誘導	■　市街化調整区域内の優良な農地の保全とともに、秩序ある土地利用の規制誘導を図ります。
	④道路ネットワークの構築	■　広域幹線道路の整備に向け、地域および事業主体などの関係機関に対して働きかけます。 （都）姫街道線（八幡町地内）、（都）東三河環状線、 （主）豊川新城線の事業促進 （県）千万町豊川線の拡幅改良および交差点改良の早期完了 ■　地域内ネットワークを構成する道路である（都）上宿樽井線の整備を推進します。
	⑤歴史的な景観・史跡などの保全と活用	■　三河国分尼寺跡史跡公園や財賀寺をはじめ、歴史的な景観を含めた周辺環境の保全に努めます。 ■　豊川海軍工廠跡地の一部について、残存遺構を保存し、その歴史を後世に伝えるため、平和公園（仮称）を整備し、その活用を図ります。
憩いと集いを生み出す緑の拠点の形成	①豊川市スポーツ公園の整備	■　豊川市スポーツ公園の整備を推進します。
	②赤塚山公園を中心とした緑の拠点とネットワークの形成	■　赤塚山公園における管理運営体制や魅力向上のための施策について検討し、施設改修などを行うことにより、交流・定住人口の増加を図ります。 ■　佐奈川～豊川公園～（都）桜町千両線から赤塚山公園へつながる桜を中心とした緑のネットワークを形成し、歩行者空間の整備を推進します。 ◎　西古瀬川周辺において、定期的な清掃や草刈りなどの美化活動を進めます。

３．まちづくりの方針図


凡例
住宅地
商業・業務地
沿道複合地
工業地
農用地
森林
レクリエーション地
緑のネットワーク
中心拠点
地域拠点
新たな産業集積ゾーン
鉄道軸
高速道路
主な道路
施策で掲げる整備推進区間（道路）
施策で掲げる整備推進区間（河川）
市街化区域
地域界
廃棄物処理施設の適正管理
豊川市スポーツ公園の整備
赤塚山公園を中心とした緑の拠点とネットワークの形成
道路ネットワークの構築
歴史的な景観・史跡などの保全と活用
安全で安心な住環境の整備
市民病院へのアクセスのための交通環境の整備推進
戦略的にぎわい交流エリアの形成
0
1,000
2,000
m
N
一宮
東部
金屋
南部
中部
代田
小坂井
西部
御津
音羽

西部地域

東海道五十三次の35番目の宿駅として形成され、天然記念物である御油のマツ並木がある御油地区と、本市で最も利用客数の多い名鉄国府駅を有し、名古屋・豊橋方面への玄関口を形成する国府地区から成る地域であり、音羽川沿いには桜並木が形成され、本市を代表する都市公園である東三河ふるさと公園があります。

地域を横断する（都）国道1号線の東西に市街化区域が指定され、南部では農地が分布しています。

本地域では、名鉄国府駅という恵まれた交通条件や御油のマツ並木などの歴史資源を活かしながら、本市の西の玄関口づくりを進め、交通結節点の形成、居住環境づくりを図り、（都）名豊道路（国道23号バイパス）整備に伴う豊川為当ＩＣ周辺では交通結節点の機能を活かしたまちづくりを目指します。

音羽川の桜

名鉄国府駅

１．地域の目標と方針

地域の特性

・本市で最も乗車人員の多い名鉄国府駅は、名古屋・豊橋方面への玄関口となっており、国府地区を地域拠点に位置づけています。
・（都）国道1号線、（都）名豊道路（国道23号バイパス）、同豊川為当ＩＣなど広域的な道路交通基盤が集中し、交通結節点となっています。
・豊川西部土地区画整理事業が施行中であり、駅至近に優良な住宅地形成が進んでいます。
・音羽川は市街地の貴重な緑であり、桜並木など親水空間としても親しまれています。
・国府駅周辺のバリアフリー化が進んでいます。
・天然記念物である御油のマツ並木と調和した御油松並木公園の整備が進んでいます。
・旧東海道御油宿など歴史的な景観資源を有しています。

地域の課題

・（都）名豊道路（国道23号バイパス）、豊川為当ＩＣ開通、東三河ふるさと公園へのアクセスなどに伴い、関連する道路ネットワークの整備
・地域拠点である名鉄国府駅周辺への商業・業務機能の集積

・広域的幹線道路である（都）名豊道路開通による既存住宅地への環境負荷の低減とともに、ＩＣ配置の利便性を活かした地域の活性化
・老朽建物の改善と市街化区域内の下水道整備の推進
・低未利用地の有効活用に向けた検討

・豊川西部土地区画整理事業の早期完成と関連する幹線道路の整備促進（（都）大池線など）
・基盤未整備地区の整備推進
・御油のマツ並木の保全・活用と周辺の住環境との調和の確保

目標と方針

交通利便性を活かした便利で暮らしやすい地域拠点の形成

①交通結節機能を活かした地域拠点の形成
②幹線道路ネットワークの充実
③安全で利便性の高い地域交通環境の整備促進

多様な産業の集積・連携強化と安全で快適な居住環境の確保

①適切な土地利用の誘導と新たな産業集積の検討
②豊川西部土地区画整理事業の推進
③老朽建物の改善による安全性の確保
④生活基盤施設の整備・充実、生活環境の保全
⑤白鳥地区工業団地（仮称）の整備促進

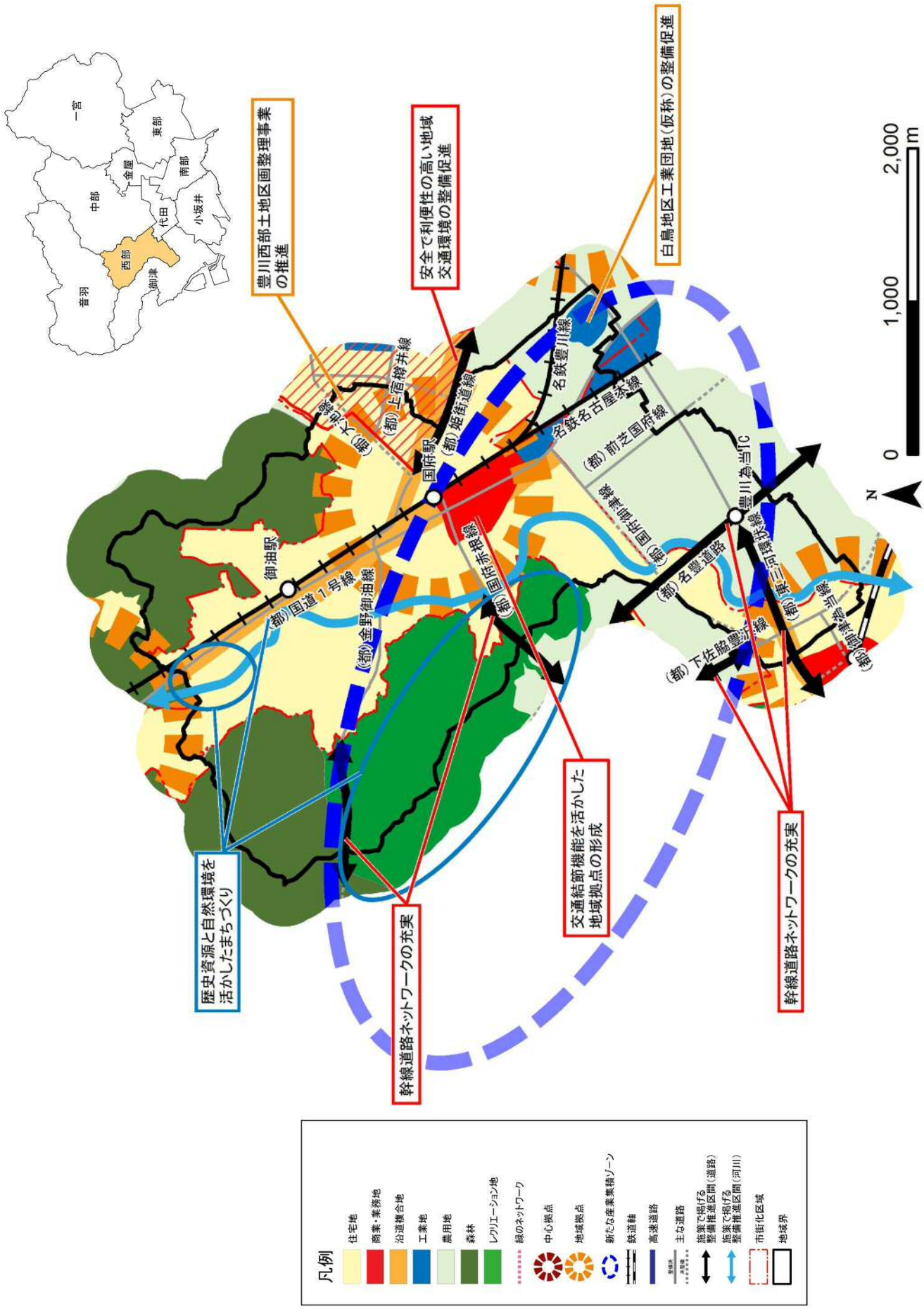
歴史や水と緑が共生した質の高い交流の場の保全・整備

①歴史資源と自然環境を活かしたまちづくり

２．方針と施策

目標	方針	施策（■行政主体　◎市民協働）
交通利便性を活かした便利で暮らしやすい地域拠点の形成	①交通結節機能を活かした地域拠点の形成	■ 名鉄国府駅周辺において、アクセス道路の充実を図るとともに、商業地を配置し、本市の西の玄関口としてふさわしいにぎわいある地域拠点を形成します。 ■ 名鉄国府駅周辺地域のバリアフリー化を促進し、安全・安心なまちづくりを進めます。
	②幹線道路ネットワークの充実	■ 広域幹線道路の整備に向け、地域および事業主体などの関係機関に対して働きかけます。 （都）名豊道路蒲郡バイパスの早期事業完了、豊橋バイパスの 4 車線化の事業促進 （都）東三河環状線の 4 車線化の事業促進 ■ 地域間ネットワークを構成する道路の事業促進に向け、地域および事業主体などの関係機関に対して働きかけます。 （都）国府赤根線　（都）金野御油線　（都）下佐脇豊沢線 （都）姫街道線
	③安全で利便性の高い地域交通環境の整備促進	■ 通学路の安全確保などのため、（都）大池線の整備を推進します。 ■ （都）大池線の整備をはじめ、豊川西部土地区画整理事業地内の道路整備を推進します。 ◎ コミュニティバス（地域路線）のルートやバス停の位置、ダイヤなどは改善の検討を進めます。
多様な産業の集積・連携強化と安全で快適な居住環境の確保	①適切な土地利用の誘導と新たな産業集積の検討	■ （都）名豊道路豊川為当ＩＣの整備後においても、市街化調整区域の虫食い的な開発を抑制し、優良な農地や自然環境の保全に努める一方、秩序ある土地利用の規制誘導を図ります。 ■ 広域的な幹線道路、交通基盤である（都）名豊道路豊川為当ＩＣなどを中心にした交通ネットワークの結節点となる本地域の特性を活かし、製造業・流通業などの新たな産業集積を検討します。
	②豊川西部土地区画整理事業の推進	■ 既存の住宅地の環境保全を図るとともに、豊川西部土地区画整理事業を推進し、安全で快適な居住空間を確保します。
	③老朽建物の改善による安全性の確保	■ 老朽建物の改善により、防災性の向上を図り、安全で快適な居住空間を確保します。
	④生活基盤施設の整備・充実、生活環境の保全	■ 生活基盤施設の整備・充実が必要な国府岡本、国府高畑、為当第二地区および豊川西部土地区画整理事業地周辺の第一種低層住居専用地域や国府駅東などの低未利用地については、地域の理解、協力を得ながら、まちづくりのルールづくりや必要な基盤整備について推進します。 ■ 国府、為当および森地区においては、計画的な下水道整備を推進します。
	⑤白鳥地区工業団地（仮称）の整備促進	■ 道路ネットワークの結節点に位置する利便性を活かして、企業誘致を進め、地域活性化を図ります。そのために（都）東三河環状線沿道における白鳥地区工業団地（仮称）整備を促進します。
歴史や水と緑が共生した質の高い交流の場の保全・整備	①歴史資源と自然環境を活かしたまちづくり	■ 東三河ふるさと公園の整備を促進し、郷土の自然環境を活かした景観の確保と憩い、交流の場の形成を進めます。 ◎ 御油松並木公園の整備により、歴史的景観の保全とともに、地域交流の場としての機能を高めます。 ◎ 音羽川は御油のマツ並木とも一体となった親水空間として保全・整備を図ります。

３．　まちづくりの方針図


一宮
東部
金屋
南部
中部
代田
小坂井
西部
御津
音羽
豊川西部土地区画整理事業の推進
安全で利便性の高い地域交通環境の整備促進
白鳥地区工業団地（仮称）の整備促進
名鉄豊川線
名鉄名古屋本線
（都）前芝国府線
（都）上宿樽井線
（都）姫街道線
国府駅
御油駅
（都）国道１号線
（都）金野御油線
（都）国府赤根線
（都）名豊道路
豊川為当IC
（都）東三河環状線
（都）下佐脇豊津線
（都）国府豊橋線
歴史資源と自然環境を活かしたまちづくり
幹線道路ネットワークの充実
交通結節機能を活かした地域拠点の形成
幹線道路ネットワークの充実
0
1,000
2,000
m
N
凡例
住宅地
商業・業務地
沿道複合地
工業地
農用地
森林
レクリエーション地
緑のネットワーク
中心拠点
地域拠点
新たな産業集積ゾーン
鉄道軸
高速道路
主な道路
施策で掲げる整備推進区間（道路）
施策で掲げる整備推進区間（河川）
市街化区域
地域界

代田地域

豊川海軍工廠跡地を有する本地域は、戦後復興により現在の街なみが形成され、穂ノ原工業団地には大規模な工場が集積し、名鉄八幡駅南側には市民病院が立地しています。中心拠点の諏訪地区には、本市の中心的な商業・業務機能が集まっています。

白川の東側には市街化区域が指定され、西側には農地が分布しています。

本地域では、諏訪地区では商業・業務機能の機能強化およびおいでん横丁の開催などのにぎわい創出による中心拠点の活性化を図り、八幡地区では地域拠点にふさわしい都市機能の集約を図るとともに、河川、農地などの緑を保全するまちづくりを目指します。

市民病院

おいでん横丁（諏訪地区）

１．地域の目標と方針

地域の特性

・諏訪地区には、本市の中心的な商業・業務機能が集まっています。
・（都）国道1号線、（都）東三河環状線が交差する交通結節点となっています。
・市民病院が立地する八幡地区とともに桜町地区は、医療機能を核にしたにぎわいある地域拠点に位置づけています。
・穂ノ原地区の工業団地に大規模な工場が集積しています。
・名鉄八幡駅および市民病院周辺のバリアフリー化や道路、下水道などの基盤整備が進んでいます。
・市民病院へ接続するバス路線網が構築されています。
・諏訪地区において、にぎわい創出に向けた活性化施策が展開されています。

地域の課題

・中心拠点である諏訪地区における空洞化への対策
・名鉄諏訪町駅周辺の交通結節点の機能強化

・地域拠点の形成に向けた道路環境の整備と、周辺住宅地への環境保全の確保
・市民病院の立地を活かした名鉄八幡駅周辺の地域拠点（八幡地区）としての機能充実
・豊川工業団地（野路地区）における企業撤退後の跡地活用

・広域幹線が交差する立地の活用策の検討
・佐奈川や白川などの自然環境の保全と活用
・街なかの公園の多機能化

目標と方針

諏訪地区におけるにぎわいのある中心拠点の形成

①中心拠点にふさわしい商業・業務機能の強化
②中心拠点周辺における交通環境の整備

八幡地区にふさわしい地域拠点としての都市環境の創出

①市民病院へのアクセス強化
②戦略的にぎわい交流エリアの形成

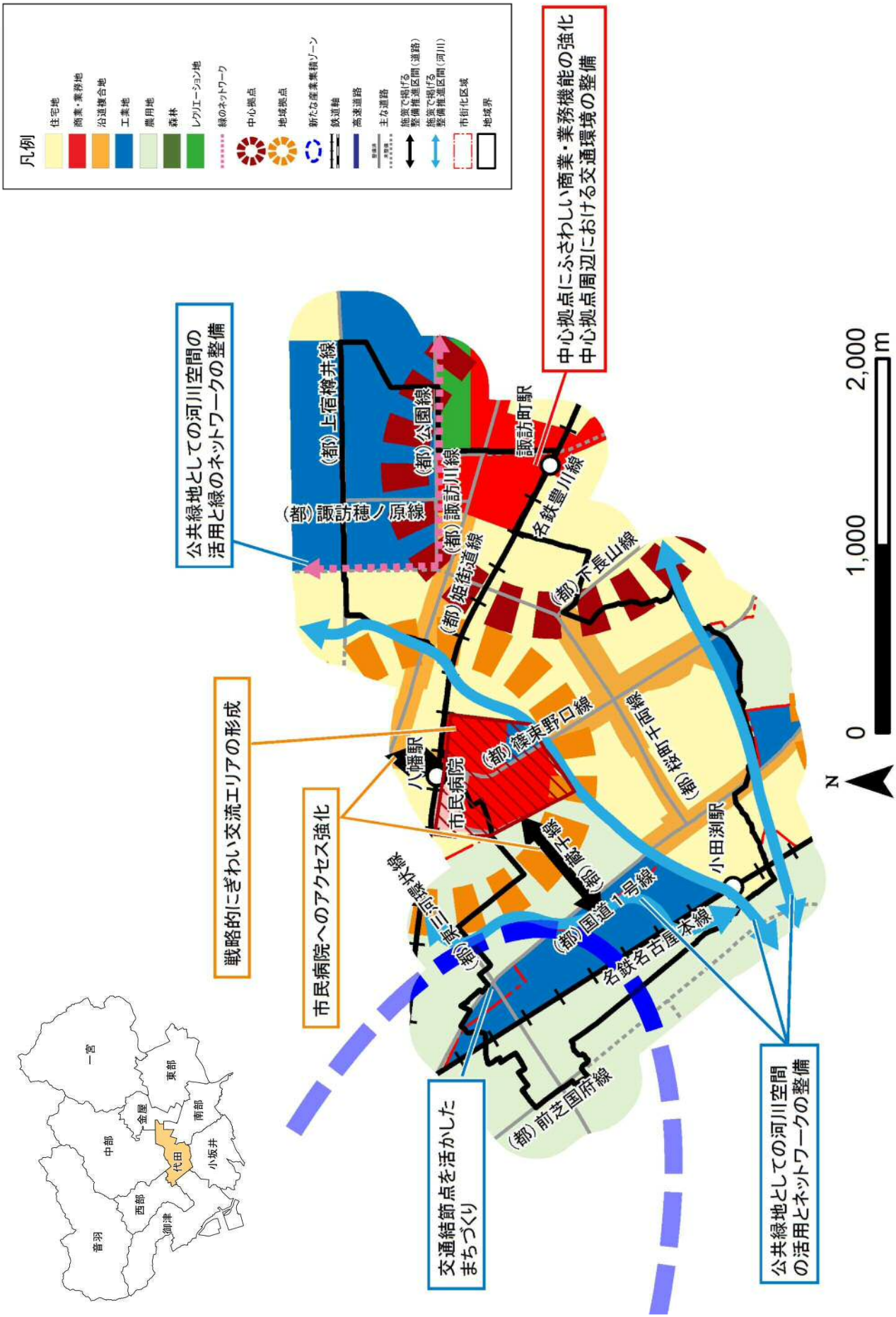
緑の保全と優れた交通利便性を活かしたまちづくり

①市街化調整区域の適切な規制と誘導
②交通結節点を活かしたまちづくり
③公共緑地としての河川空間の活用と緑のネットワークの整備
④街なかの公園の多機能化

２．方針と施策

目標	方針	施策（■行政主体　◎市民協働）
諏訪地区におけるにぎわいのある中心拠点の形成	①中心拠点にふさわしい商業・業務機能の強化	■ 中心拠点内の無電柱化事業の延伸などを通じて、優良な都市景観の形成を図るほか、防災機能の向上を促進します。 ■ 空き店舗や公共空間の利用促進を通じて、商業と業務機能の融合を図り、中心拠点の経済活力の向上を推進します。 ◎ 商店会、町内会および民間企業などが協力し、諏訪地区の魅力を伝えるイベントを開催することで、中心拠点にふさわしいにぎわいを創出します。
	②中心拠点周辺における交通環境の整備	■ 名鉄諏訪町駅、市街地再開発ビル「プリオ・プリオⅡ」周辺の中心拠点内の道路環境について、安全で快適な整備を推進します。 ■ 名鉄諏訪町駅を活かした交通結節点としての機能強化を図る必要があります。
八幡地区にふさわしい地域拠点としての都市環境の創出	①市民病院へのアクセス強化	■ 市民病院周辺の道路環境の整備を図り、市民病院へのアクセス強化を図ります。 （都）篠束野口線のバリアフリー化や（都）蔵子線の整備推進 ■ 誰もが使いやすい幹線バス路線の維持を図ります。
	②戦略的にぎわい交流エリアの形成	■ 企業撤退後の豊川工業団地（野路地区）においては、市民病院（医療）や名鉄八幡駅という立地条件を活かし、公共施設、商業、福祉、住宅など多様な機能を集約した複合的な地域拠点として、中心拠点を補完する戦略的にぎわい交流エリアを形成します。 ■ 地区計画制度の活用などを通じて、市民病院や工業地、周辺の住環境との適切な調和を図ります。
緑の保全と優れた交通利便性を活かしたまちづくり	①市街化調整区域の適切な規制と誘導	■ 市街化調整区域内の優良な農地の保全とともに、秩序ある土地利用の規制誘導を図ります。
	②交通結節点を活かしたまちづくり	■ （都）国道１号線と（都）東三河環状線が交差する交通結節点という有利性を活かした産業の集積・強化を検討します。
	③公共緑地としての河川空間の活用と緑のネットワークの整備	■ 本市の市街地を縦貫する佐奈川の環境・景観の保全・形成を図るとともに、（都）桜町千両線沿いに緑のネットワークを整備します。 ■ 白川、西古瀬川は、自然環境の保全と計画的な改修を促進します。
	④街なかの公園の多機能化	■ 街なかの公園（諏訪公園）について、多機能化（憩い・スポーツ・イベントなどへの対応）することにより、街なかの活性化を図ります。

３．　まちづくりの方針図


凡例
住宅地
商業・業務地
沿道複合地
工業地
農用地
森林
レクリエーション地
緑のネットワーク
中心拠点
地域拠点
新たな産業集積ゾーン
鉄道軸
高速道路
主な道路
施策で掲げる整備推進区間（道路）
施策で掲げる整備推進区間（河川）
市街化区域
地域界
公共緑地としての河川空間の活用と緑のネットワークの整備
中心拠点にふさわしい商業・業務機能の強化
中心拠点周辺における交通環境の整備
戦略的にぎわい交流エリアの形成
市民病院へのアクセス強化
交通結節点を活かしたまちづくり
公共緑地としての河川空間の活用とネットワークの整備
(都)上宿樽井線
(都)公園線
(都)諏訪穂ノ原線
(都)諏訪川線
(都)姫街道線
(都)篠束野口線
(都)長山線
(都)国道1号線
(都)前芝国府線
(都)名鉄名古屋本線
(都)名鉄豊川線
(都)篠束十間線
(都)篠束本線
(都)篠束三線
諏訪町駅
八幡駅
市民病院
小田渕駅
0
1,000
2,000
m
N
一宮
東部
金屋
南部
中部
代田
小坂井
西部
御津
音羽

金屋地域

佐奈川沿いには桜並木が形成され、豊川公園、（都）公園線へと連続する桜の名所として、市民の憩いの場となっています。南部には本市の東西の軸を形成する（都）姫街道線沿いに市役所が立地し、中心拠点の中央通地区があります。

（都）東三河環状線以南に市街化区域が指定され、北部では農地が分布しています。

本地域では、豊川公園周辺の桜トンネルなどの景観資源を活かしながら、生活環境の保全と整備を図り、中心拠点の活性化、穂ノ原工業団地をはじめとする産業集積のまちづくりを目指します。

豊川市役所

桜トンネル

１．地域の目標と方針

地域の特性

・豊川公園、自衛隊豊川駐屯地、穂ノ原工業団地など主要な施設群が立地しています。
・（都）姫街道線沿道には、商業・業務施設が集積し、本市の中心拠点の一角を構成しています。
・佐奈川沿いには、ふれあい公園から金屋橋までの区間に散策路が整備され、豊川公園・桜トンネル、（都）公園線と連続性のある桜の名所になっているほか、日常における憩いの空間となっています。
・(都)東三河環状線の整備が進んでいます。
・（仮称）緑のリサイクルセンターの整備が進んでいます。

地域の課題

・公共交通ネットワークの整備
・広域的な幹線道路である（都）東三河環状線の早期整備完了とこれに通じる周辺道路の整備
・豊川地区と諏訪地区を結ぶ沿道型中心拠点の活性化

・東名高速道路豊川ＩＣ周辺への産業施設の集積
・（都）東三河環状線整備に伴うスプロール的な市街化の抑制
・工場の住宅地への影響緩和

・豊川公園や佐奈川につながる緑のネットワークの充実
・街なかの公園の多機能化

目標と方針

市民生活と多彩な交流を支える中心拠点としての多様な機能の整備

①幹線道路ネットワークの早期整備推進
②地区内交通の利便性を高める道路の整備推進
③沿道型商業空間の形成

産業活力の創出と安全でゆとりある生活環境の保全と整備

①安全で快適な居住空間の確保
②周辺環境と調和した工業地の形成
③豊川ＩＣ周辺における製造業･流通業などの集積

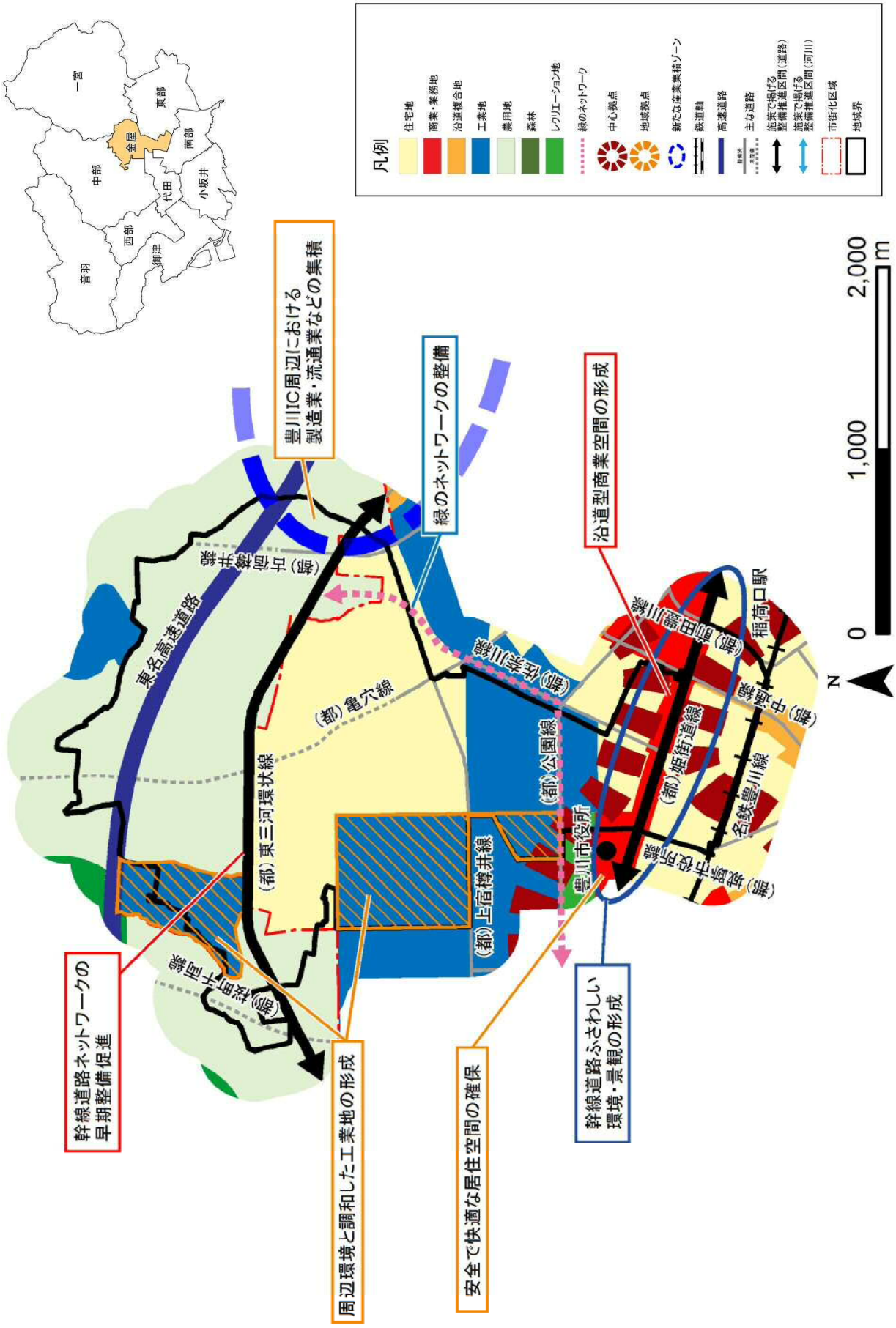
身近な緑や水辺が調和した景観とやすらぎのある地域環境の形成

①緑のネットワークの整備
②幹線道路にふさわしい都市景観形成

２．方針と施策

目標	方針	施策（■行政主体　◎市民協働）
市民生活と多彩な交流を支える中心拠点としての多様な機能の整備	①幹線道路ネットワークの早期整備推進	■ 広域幹線道路の整備に向け、地域および事業主体などの関係機関に対して働きかけます。 （都）東三河環状線（大崎・三蔵子工区）の事業促進
	②地区内交通の利便性を高める道路の整備推進	■ 幹線道路へのアクセス強化を図ります。 （都）東三河環状線に通じるアクセス道路の整備促進
	③沿道型商業空間の形成	■ （都）姫街道線沿道については、中心拠点の豊川地区と諏訪地区を結びつける沿道型商業軸として、商店街活性化のための施策の展開と基盤整備を促進します。
産業活力の創出と安全でゆとりある生活環境の保全と整備	①安全で快適な居住空間の確保	■ 災害対応の中核となり、防災教育の場も兼ねた豊川市防災センターを整備します。
	②周辺環境と調和した工業地の形成	■ 穂ノ原工業団地は、周辺の住環境との調和を図った工業地としての環境・景観を保全します。 ■ 大崎・南千両地区の工業地は、周辺の住環境との調和を図る一方、地区内での住工混在による環境悪化を招かないよう、開発・建築にあたっては適切な規制・誘導を図ります。
	③豊川ＩＣ周辺における製造業・流通業などの集積	■ （都）東三河環状線の整備を活かし、東名高速道路豊川ＩＣ周辺地域における製造業・流通業などの集積のため、周辺の住環境との調和を図った企業誘致を検討します。
身近な緑や水辺が調和した景観とやすらぎのある地域環境の形成	①緑のネットワークの整備	■ 佐奈川、豊川公園・桜トンネル、（都）桜町千両線を結ぶ、緑のネットワークの整備を推進します。 ■ 街なかの公園（豊川公園）について、多機能化（憩い・スポーツ・イベントなどへの対応）することにより、街なかの活性化を図ります。 ◎ 佐奈川の親水空間としての機能向上と、環境・景観の保全・向上を図ります。
	②幹線道路にふさわしい都市景観形成	■ 市役所周辺および（都）姫街道線沿道は、本市中心地および本市の都市軸にふさわしい都市景観の形成を図ります。

３．　まちづくりの方針図

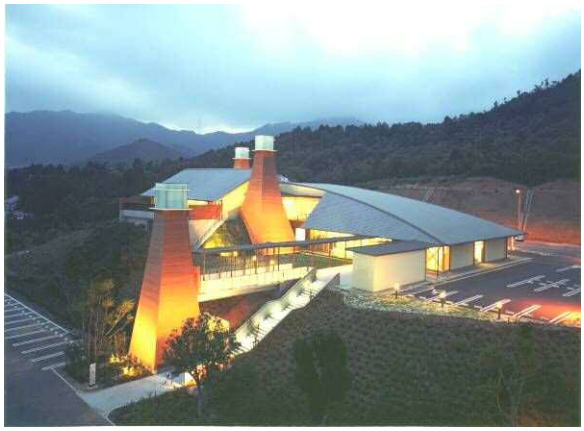

凡例
住宅地
商業・業務地
沿道複合地
工業地
農用地
森林
レクリエーション地
緑のネットワーク
中心拠点
地域拠点
新たな産業集積ゾーン
鉄道軸
高速道路
主な道路
施策で掲げる整備推進区間（道路）
施策で掲げる整備推進区間（河川）
市街化区域
地域界
一宮
東部
金屋
南部
中部
代田
小坂井
西部
御津
音羽
東名高速道路
（都）古河樽井線
（都）東三河環状線
（都）亀穴線
（都）上宿樽井線
（都）公園線
（都）姫街道線
（都）豊川市役所線
（都）中通線
（都）豊川稲荷線
（都）佐奈川線
（都）豊田豊川線
（都）東田中央線
名鉄豊川線
稲荷口駅
豊川市役所
豊川IC周辺における製造業・流通業などの集積
緑のネットワークの整備
沿道型商業空間の形成
幹線道路ネットワークの早期整備促進
周辺環境と調和した工業地の形成
安全で快適な居住空間の確保
幹線道路ふさわしい環境・景観の形成
0
1,000
2,000
m
N

一宮地域

本宮山、豊川など本市を代表する自然景観を持ち、東名高速道路豊川ＩＣに近接する地域特性を活かした内陸工業団地の整備など産業集積が図られている地域となっています。

（都）豊川一宮線沿いに市街化区域が指定され、まわりを農地が広く分布しています。

本地域では、砥鹿神社や本宮の湯、大和の大イチョウをはじめとする景観資源の活用を図るとともに、市街地では良好な住宅環境の形成を進め、隣接する新城市との広域道路ネットワークの整備に向けたまちづくりを目指します。



本宮の湯

大和の大イチョウ

１．地域の目標と方針

地域の特性

・最も広い地域面積を有しており、本宮山、豊川など本市を象徴する自然景観を持っています。
・新東名高速道路新城ＩＣへのアクセス確保や医療圏の広域化など、東三河北部地域とのつながりが増しており、広域的な道路ネットワークの形成が進んでいます。
・内陸工業団地の整備が推進されています。
・一宮大木土地区画整理事業、(都)豊川新城線の整備が進んでいます。
・地域内を循環するバス路線網が構築されています。
・ＪＲ三河一宮駅周辺は、地域住民の生活を支える地域拠点に位置づけています。

地域の課題

・ＪＲ三河一宮駅周辺の地域拠点としての機能向上
・快適で安心して過ごせる生活環境基盤の整備の推進
・市街化区域内の公共下水道整備の推進

・広域的な道路ネットワーク形成に合わせて、地域活性につながるまちづくりの推進
・（都）豊川新城線（国号151号バイパス）の整備にあわせた東名高速道路豊川ＩＣ周辺への産業施設の集積

・豊かな自然環境の保全と、調和した生活環境の整備推進
・本宮山周辺施設の活用

目標と方針

既存ストックを活かした利便性の高い地域拠点の形成

①地域住民の生活を支える地域拠点の形成
②一宮大木土地区画整理事業の整備の推進支援
③生活環境基盤の整備・充実

広域道路ネットワークの整備と連携した活力あるまちづくり

①（都）豊川新城線の早期完成、アクセス道路の整備
②豊川ＩＣ周辺における製造業・流通業などの集積

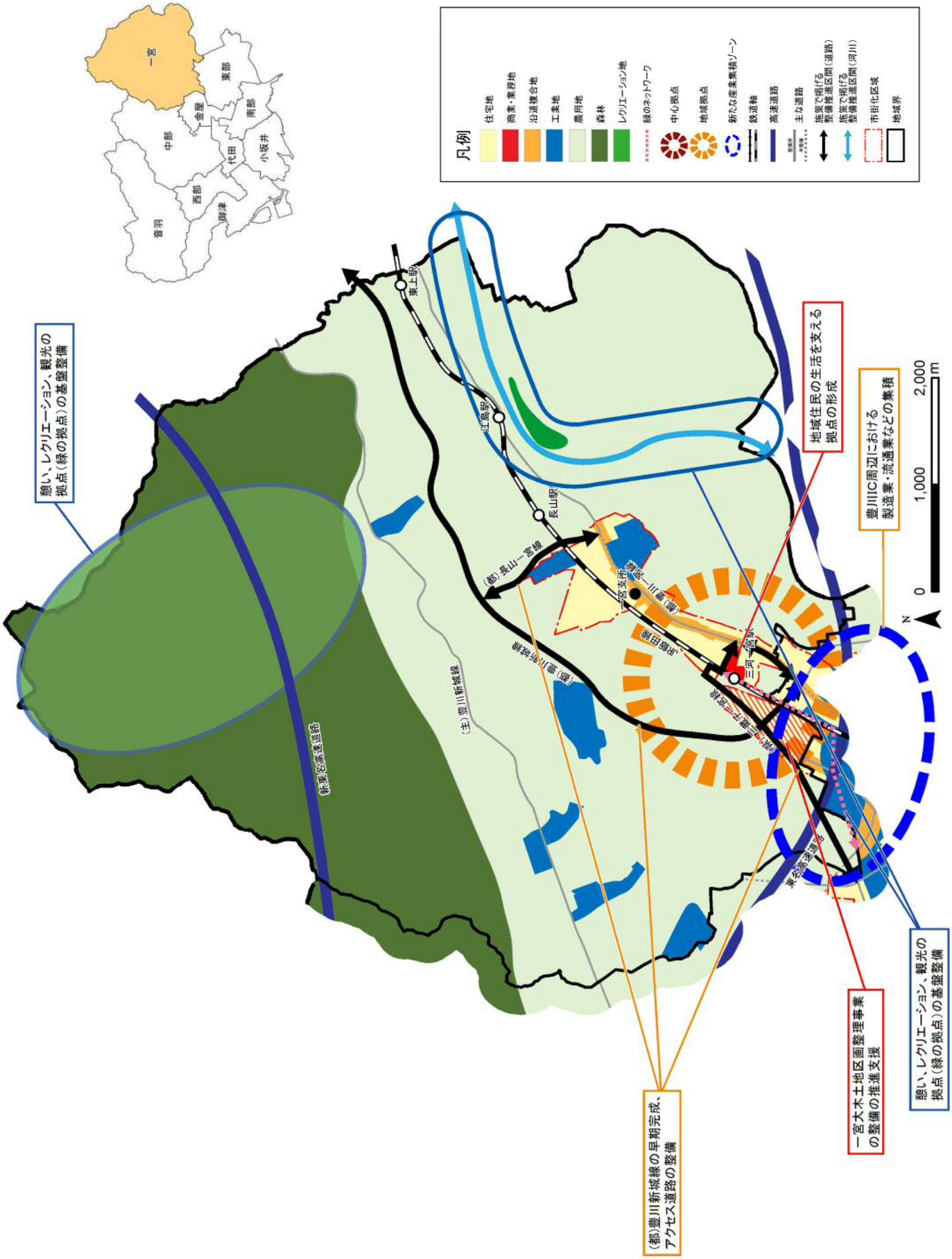
水と緑のネットワーク形成による憩いと集いの場づくり

①憩い、レクリエーション、観光の拠点（緑の拠点）の基盤整備
②民有林の保全と有効活用
③緑の保全・育成

２．方針と施策

目標	方針	施策（■行政主体　◎市民協働）
既存ストックを活かした利便性の高い地域拠点の形成	①地域住民の生活を支える地域拠点の形成	■　ＪＲ三河一宮駅周辺および（都）豊川一宮線（国道 151 号）沿道には、住民生活に必要な商業・業務機能を集積し、活力ある地域拠点の形成を図ります。
	②一宮大木土地区画整理事業の整備の推進支援	◎　一宮大木土地区画整理事業による住宅地基盤整備の推進を支援します。
	③生活環境基盤の整備・充実	■　下水道をはじめとした都市基盤施設が未整備な市街化区域内の住宅地では、計画的な都市基盤施設の整備を推進します。 ■　宮前地区においては、計画的な下水道整備を推進します。 ◎　コミュニティバス（地域路線）のルートやバス停の位置、ダイヤなどは改善の検討を進めます。
広域道路ネットワークの整備と連携した活力あるまちづくり	①（都）豊川新城線の早期完成、アクセス道路の整備	■　新東名高速道路新城ＩＣへのアクセスや、医療圏の拡大など、東三河北部地域とのつながりが増しており、（都）豊川新城線（国道 151 号バイパス）の整備に向け、地域および事業主体などの関係機関に対して働きかけます。 ■　（都）豊川新城線と合わせて、これにアクセスする地区幹線道路の整備を促進します。 （都）豊川一宮線の事業促進 （都）長山一宮線の事業化に向けた検討 県道三蔵子一宮線の事業促進に向けた、地域および事業主体などの関係機関への働きかけ
	②豊川ＩＣ周辺における製造業･流通業などの集積	■　整備が完了した新東名高速道路と今後整備が進む（都）豊川新城線を活かし、東名高速道路豊川ＩＣ周辺地域における製造業・流通業などの集積のため、企業誘致を検討します。
水と緑のネットワーク形成による憩いと集いの場づくり	①憩い、レクリエーション、観光の拠点（緑の拠点）の基盤整備	■　県立本宮山自然公園や本宮の湯をはじめとした既存施設との連携強化を図り、観光ネットワークを形成します。 ■　豊川の環境・景観保全・形成を図るほか、豊川河川敷の有効活用を推進します。 ■　本市の市街地を縦貫する佐奈川・帯川について、親水空間としての機能を充実させます。 ◎　本宮山登山道の清掃、補修整備及び維持管理を図ります。 ◎　手取山公園をレクリエーションや自然学習の公園として継承できるよう保全・清掃や維持管理を図ります。
	②民有林の保全と有効活用	■　砥鹿神社をはじめとした歴史性を有する民有林の保全と有効活用に向けた啓発を図ります。
	③緑の保全・育成	■　森林の保全・育成のための基盤整備を促進するほか、安全な住民生活を確保するための治山対策を推進します。

３．　まちづくりの方針図


凡例
住宅地
商業・業務地
沿道複合地
工業地
農用地
森林
レクリエーション地
緑のネットワーク
中心拠点
地域拠点
新たな産業集積ゾーン
鉄道軸
高速道路
主な道路
施策で図ける整備推進区間（道路）
施策で図ける整備推進区間（河川）
市街化区域
地域界
一宮
東部
金屋
南部
中部
代田
小坂井
音羽
西部
御津
東上駅
江島駅
長山駅
宮支所
一宮駅
三河一宮駅
(都)長山一宮線
(都)豊川新城線
(主)豊川新城線
JR東海道線
名鉄名古屋本線
東名高速道路
新東名高速道路
0
1,000
2,000
m
N
憩い、レクリエーション、観光の拠点（緑の拠点）の基盤整備
地域住民の生活を支える拠点の形成
豊川IC周辺における製造業・流通業などの集積
憩い、レクリエーション、観光の拠点（緑の拠点）の基盤整備
一宮大木土地区画整理事業の整備の推進支援
(都)豊川新城線の早期完成、アクセス道路の整備

音羽地域

東名高速道路音羽蒲郡ＩＣがあり、広域的な交通結節点となっているほか、紅葉が美しいコアブラツツジの自生地のある宮路山、旧東海道における赤坂宿などの自然・歴史資源を持つ地域となっています。

（都）国道1号線沿いに帯状に市街化区域が指定されており、市街地を挟み込むように森林が形成されています。

本地域では、交通利便性を活かした産業の集積を図るとともに、地域生活を支える名鉄名電赤坂駅および音羽支所周辺における拠点の形成、緑の保全・育成を図り、自然・歴史資源と共生したまちづくりを目指します。

赤坂宿（大橋屋）

宮路山と紅葉

１．地域の目標と方針

地域の特性

・市街地を挟み込むように森林が形成されています。
・（都）国道1号線が地域の中央を通過しており、東名高速道路音羽蒲郡ＩＣがあり、広域的な交通結節点となっています。
・赤坂地区や萩地区には大規模な工業地が形成されています。
・旧東海道赤坂宿など歴史的景観と居住地域が共存しています。
・地域拠点である名鉄名電赤坂駅と音羽支所を結ぶ区域への商業機能集積は進んでいません。
・萩地区には優良な農地が広がっています。
・宮路山をはじめとした観光資源を有しています。

地域の課題

・地域内外を結ぶコミュニティバスの維持
・旧豊川市街地と音羽地域を結ぶ道路ネットワークの整備推進
・名電赤坂駅および支所周辺の地域拠点（音羽地区）としての機能向上
・広域的な交通ネットワークの結節点となる本地域の特性を活かした地域活性化

・旧東海道の宿場町という地域特性を活かした道路環境整備
・旧赤坂宿の歴史的資源の保全と活用

・適切な森林育成・保全
・市街化調整区域における既存集落からの排水対策を通じた環境保全
・計画的な下水道整備の推進

目標と方針

交通利便性を活かした便利で活力ある地域拠点の形成

①適切な土地利用の誘導と新たな産業集積の検討
②地域住民の生活を支える地域拠点の形成
③名鉄名電赤坂駅および名鉄名電長沢駅へのアクセス充実

宿場町の歴史を活かした多彩な交流によるにぎわいづくり

①歴史と調和した道路環境の形成
②歴史資源を活かしたまちづくり

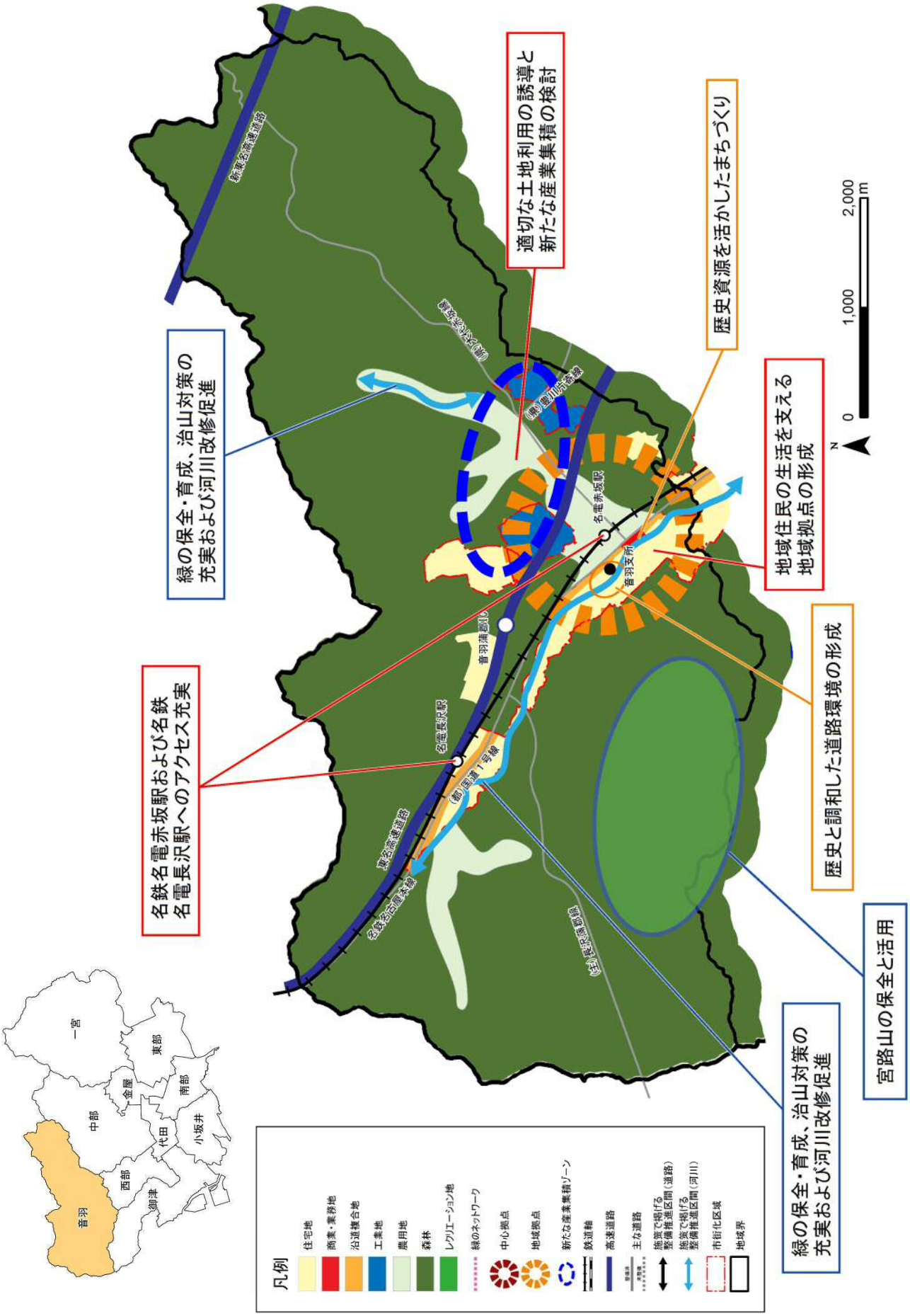
豊かな自然環境の保全と、自然と共生した安全で快適なまちづくり

①緑の保全・育成、治山対策の充実および河川改修促進
②自然と共生した住環境整備
③宮路山の保全と活用

２．方針と施策

目標	方針	施策（■行政主体　◎市民協働）
交通利便性を活かした便利で活力ある地域拠点の形成	①適切な土地利用の誘導と新たな産業集積の検討	■ 東名高速道路音羽蒲郡ＩＣ周辺において、市街化調整区域の虫食い的な開発を抑制し、優良な農地や自然環境の保全に努める一方、秩序ある土地利用の規制誘導を図ります。 ■ 広域的な交通ネットワークの結節点となる本地域の特性を活かし、製造業・流通業などの新たな産業集積を検討します。
	②地域住民の生活を支える地域拠点の形成	■ 名鉄名電赤坂駅と音羽支所間を結ぶ経路を中心として、住民生活に必要な商業・業務機能の誘導を図り、地域拠点の形成に努めます。
	③名鉄名電赤坂駅および名鉄名電長沢駅へのアクセス充実	■ 名鉄名電赤坂駅および名鉄名電長沢駅へのアクセス機能を高め、交通結節機能の充実を図ります。 ◎ コミュニティバス（地域路線）のルートやバス停の位置、ダイヤなどは改善の検討を進めます。
宿場町の歴史を活かした多彩な交流によるにぎわいづくり	①歴史と調和した道路環境の形成	■ 旧赤坂宿の歴史と調和した風格ある道路環境の保全・形成を図ります。
	②歴史資源を活かしたまちづくり	■ 旧東海道や宿場町という地域特性を活かし、その保全や伝統行事の継承など歴史資源を活かしたまちづくりを図ります。
豊かな自然環境の保全と、自然と共生した安全で快適なまちづくり	①緑の保全・育成、治山対策の充実および河川改修促進	■ 安全な住民生活を確保するための治山対策（渓流部の堰堤整備など）を促進します。 ■ 緊急性、重要性に応じて、林道の適切な維持管理に努めます。 ■ （都）国道１号線北側をはじめとした地域の優良農地を保全します。 ■ 音羽川、室川などの河川改修を促進します。 ◎ 音羽川周辺や宮路山において、清掃や草刈りなどの美化活動を進めます。
	②自然と共生した住環境整備	■ 地域の自然環境への負荷を低減するよう、生活排水の適切な処理方法を推進します。 ■ 萩地区においては、計画的な下水道整備を推進します。
	③宮路山の保全と活用	■ 宮路山の保全を進め、住民の憩いと交流の場となる緑の拠点として、適切な維持管理を図ります。

３．　まちづくりの方針図


適切な土地利用の誘導と
新たな産業集積の検討
歴史資源を活かしたまちづくり
緑の保全・育成、治山対策の
充実および河川改修促進
地域住民の生活を支える
地域拠点の形成
名鉄名電赤坂駅および名鉄
名電長沢駅へのアクセス充実
歴史と調和した道路環境の形成
宮路山の保全と活用
緑の保全・育成、治山対策の
充実および河川改修促進
新東名高速道路
東名高速道路
名鉄名古屋本線
名電長沢駅
名電赤坂駅
音羽清掃センター
音羽支所
(都)国道1号線
(都)豊川赤塚線
(都)長沢清掃線
0
1,000
2,000
m
N
一宮
東部
金屋
南部
中部
代田
小坂井
音羽
西部
御津
凡例
住宅地
商業・業務地
沿道複合地
工業地
農用地
森林
レクリエーション地
緑のネットワーク
中心拠点
地域拠点
新たな産業集積ゾーン
鉄道軸
高速道路
主な道路
施策で掲げる整備推進区間(道路)
施策で掲げる整備推進区間(河川)
市街化区域
地域界

御津地域

本市で唯一三河湾に面する地域であり、ＪＲ愛知御津駅は名古屋・豊橋方面へと通じる交通結節点となっており、臨海部では工場集積が進められています。また、自然環境を活用した東三河ふるさと公園を有し、市民の憩い、交流の場となっています。

地域中部を中心に市街化区域が指定され、その周辺では農地が分布しています。

本地域では、（都）名豊道路などの道路ネットワークの整備に伴い、臨海部と合わせて新たな産業集積を図るとともに、拠点形成に向けた住商機能の集約、東三河ふるさと公園、御津山をはじめとする景観の保全、地域拠点の形成に向けたまちづくりを目指します。

三河湾

東三河ふるさと公園

１．地域の目標と方針

地域の特性

・（都）名豊道路（国道23号バイパス）や（都）東三河環状線など、広域的な交通結節点としての重要性が増加しつつあります。
・臨海部には、企業立地や公園・緑地スペースとして埋立てが進んでいます。また、（都）名豊道路の整備により、産業施設の立地など今後の開発が期待されます。
・ＪＲ愛知御津駅が名古屋、豊橋両方面への広域交通結節点となり、本地域の拠点地区を形成しています。
・居住地域の周辺に、恵まれた水（臨海緑地、御津川）と緑（東三河ふるさと公園、御津山、南部中心に広がる農村地域）が配置されています。
・三河湾臨海部には、マリーナや緑地などが整備され、親水レクリエーション機能の集積地となっています。
・臨海部は津波想定区域となっています。
・ＪＲ愛知御津駅へのアクセス路線の整備が進んでいます。

地域の課題

・ＪＲ愛知御津駅および周辺地区の基盤整備の推進（都市計画道路の整備など）と地域活性化
・道路整備による地域コミュニティの分断対策
・地域拠点周辺における防災性の向上

・広域幹線道路の整備推進
・幹線道路整備に伴う周辺住宅地の環境保全および基盤整備
・臨海部の開発促進と産業集積

・臨海部の開発、東三河ふるさと公園の早期完成
・親水レクリエーション機能の集積の活用
・津波・浸水対策の推進

目標と方針

鉄道駅を中心とした地域住民の生活を支える地域拠点の形成

①ＪＲ愛知御津駅へのアクセスの強化
②地域住民の生活を支える地域拠点の形成

広域道路ネットワークの整備と連携した活力あるまちづくり

①幹線道路ネットワークの充実
②良好な居住環境の保全、整備
③適切な土地利用の誘導と新たな産業集積の検討
④臨海部の開発と保全の促進

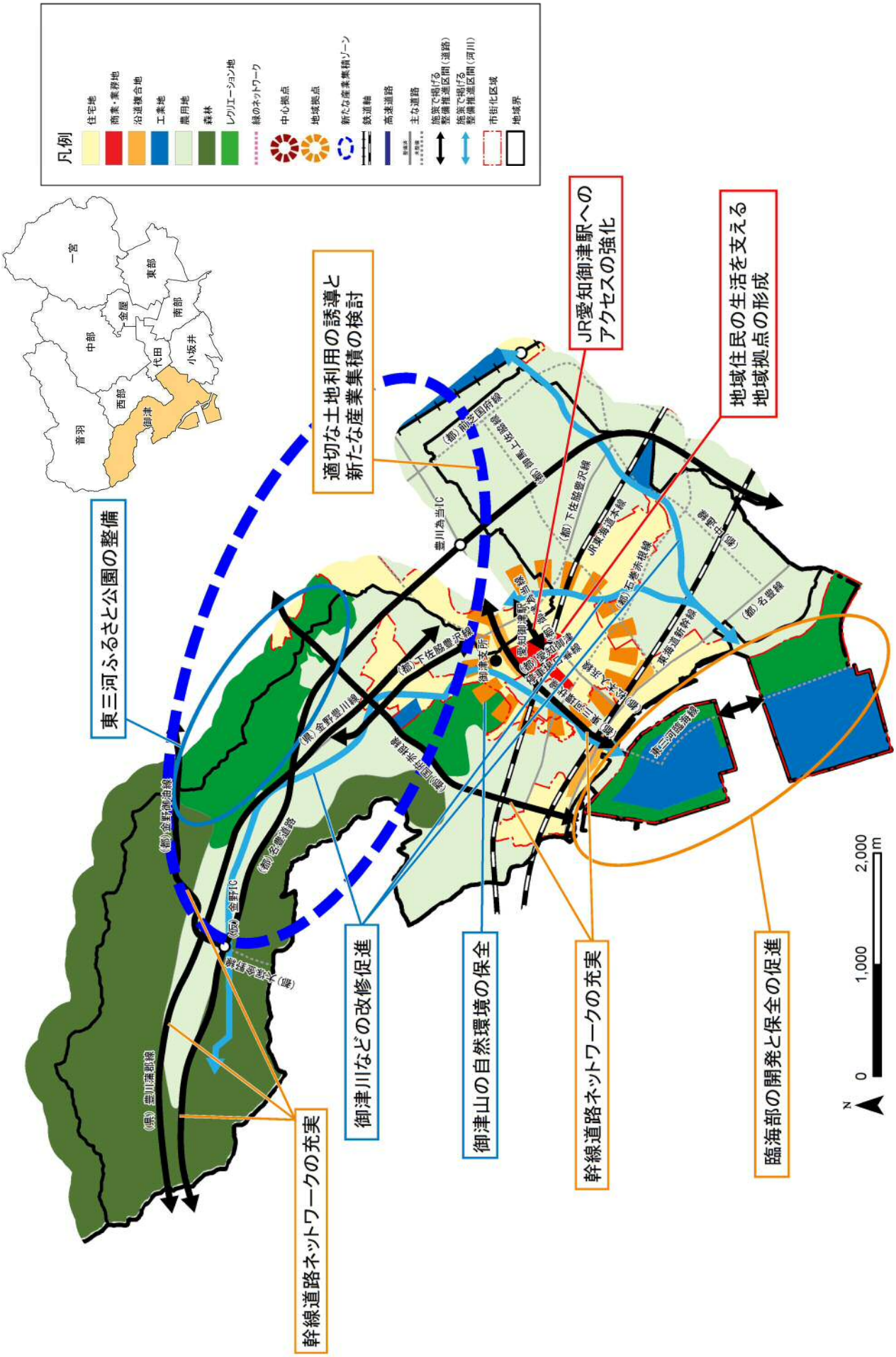
海と緑に映える、快適でうるおいあるまちづくり

①御津川などの改修促進
②御津山の自然環境の保全
③東三河ふるさと公園の整備

２．方針と施策

目標	方針	施策（■行政主体　◎市民協働）
鉄道駅を中心とした地域住民の生活を支える地域拠点の形成	①ＪＲ愛知御津駅へのアクセスの強化	■ 地域の公共交通の結節点であるＪＲ愛知御津駅にアクセスする（都）御津為当線の整備を推進します。 ◎ コミュニティバス（地域路線）のルートやバス停の位置、ダイヤなどは改善の検討を進めます。
	②地域住民の生活を支える地域拠点の形成	■ ＪＲ愛知御津駅および駅周辺部に、住民生活を支える商業機能の集積とともに、建物の防災性の向上を図ります。 ■ 駅橋上化を含めた駅南北地域へのアクセスの向上、活力ある地域拠点としての基盤整備を推進します。
広域道路ネットワークの整備と連携した活力あるまちづくり	①幹線道路ネットワークの充実	■ 主要幹線道路の整備に向け、地域および事業主体などの関係機関に対して働きかけます。 （都）名豊道路蒲郡バイパスの早期事業完了、豊橋バイパスの４車線化の事業促進 （都）東三河環状線の４車線化の事業促進 ■ 地域間ネットワークを構成する道路の事業促進に向け、地域および事業主体などの関係機関に対して働きかけます。 （都）国府赤根線 （都）金野御油線・(都)大塚金野線・県道豊川蒲郡線 （都）下佐脇豊沢線・県道金野豊川線
	②良好な居住環境の保全、整備	■ （都）名豊道路開通による周辺地域への影響の緩和を国などの関係機関に働きかけるなど、将来にわたり良好な居住環境と地域の一体性を図ります。 ■ 豊沢、赤根、下佐脇および広石地区においては、計画的な下水道整備を推進します。
	③適切な土地利用の誘導と新たな産業集積の検討	■ （都）名豊道路豊川為当ＩＣ、（仮）金野ＩＣの整備後においても、市街化調整区域の虫食い的な開発を抑制し、優良な農地や自然環境の保全に努める一方、秩序ある土地利用の規制誘導を図ります。 ■ 広域的な幹線道路・交通基盤である（都）名豊道路豊川為当ＩＣおよび（仮）金野ＩＣなどを中心にした交通ネットワークの結節点となる本地域の特性を活かし、製造業・流通業などの新たな産業集積を検討します。
	④臨海部の開発と保全の促進	■ 臨海部の機能向上を図るため、臨港道路東三河臨海線の早期事業着手を働きかけるとともに、三河港の港湾施設整備促進、企業用地の埋立て造成の早期完成を通じて、地域活性化を図ります。 ■ 津波・高潮対策のための臨海緑地の高台整備や海岸堤防などの改修を促進します。
海と緑に映える、快適でうるおいあるまちづくり	①御津川などの改修促進	■ 御津川、音羽川および白川の改修促進を図り、住民生活の安全と身近な親水空間の確保を図ります。 ◎ 桜元気広場の緑化や環境活動を進めます。
	②御津山の自然環境の保全	■ 市街地に接した身近な緑である御津山の保全を図ります。
	③東三河ふるさと公園の整備	■ 東三河ふるさと公園の整備を促進し、郷土の自然環境を活かした景観の確保と憩い、交流の場の形成を進めます。

３．　まちづくりの方針図


凡例
住宅地
商業・業務地
沿道複合地
工業地
農用地
森林
レクリエーション地
緑のネットワーク
中心拠点
地域拠点
新たな産業集積ゾーン
鉄道軸
高速道路
主な道路
施策で掲げる整備推進区間（道路）
施策で掲げる整備推進区間（河川）
市街化区域
地域界
一宮
東部
金屋
南部
中部
代田
小坂井
音羽
西部
御津
東三河ふるさと公園の整備
適切な土地利用の誘導と新たな産業集積の検討
JR愛知御津駅へのアクセスの強化
地域住民の生活を支える地域拠点の形成
御津川などの改修促進
御津山の自然環境の保全
幹線道路ネットワークの充実
臨海部の開発と保全の促進
幹線道路ネットワークの充実
豊川為当IC
金野IC
御津支所
愛知御津駅
JR東海道本線
東海道新幹線
東三河臨海線
(都)金野御津線
(都)名豊道路
(県)金野豊川線
(都)下佐脇豊沢線
(都)石巻赤根線
(都)名豊線
(都)和泉国府線
(都)国府上佐脇線
(都)中通線
(県)豊川御津線
N
0
1,000
2,000
m

小坂井地域

名鉄伊奈駅をはじめ鉄道駅が近距離に3駅あり、各方面へのアクセスにあたっての利便性が高い地域となっています。地域全域にわたり平坦地で形成され、南部には豊川放水路が流れ、伊奈地区には工業地が形成されています。

地域中部に市街化区域が指定され、周辺を農地が分布しています。

本地域では、鉄道駅が近接する利便性を活かし、駅へのアクセス強化を図り、生活に身近な緑地の確保、新池公園など生活基盤施設の整備による良好な住環境の形成を進めるまちづくりを目指します。

新池公園

名鉄伊奈駅

１．地域の目標と方針

地域の特性

・比較的人口密度が高くなっています。
・比較的狭い市街地の中に3鉄道駅が存在し、各方面へのアクセスにあたって利便性が高くなっています。
・主要幹線道路（都）名豊道路（国道23号バイパス）小坂井御津ＩＣの完成により、道路ネットワークの点で交通結節点としての機能が高まっています。
・市街化区域における公共下水道（汚水）の整備はほぼ完了していますが、雨水対策が脆弱な地区があります。
・地域拠点である3鉄道駅周辺への商業機能集積は進んでいません。
・支所や学校などの老朽化した公共施設が数多く立地しており、支所を中心とした適正配置が検討されています。

地域の課題

・下水道などの生活基盤施設の整備推進
・各鉄道駅の機能強化と周辺整備による地域拠点の形成
・公共施設の再編整備
・低未利用地の有効活用に向けた検討

・（都）名豊道路小坂井御津ＩＣへのアクセス道路の整備推進
・広域幹線道路の立体交差化の事業化

・住民に身近な緑地の確保および河川改修
・用途混在への適切な土地利用の規制・誘導
・快適な居住空間の整備

目標と方針

交通利便性を活かしたにぎわいある地域拠点の形成

①公共交通機関へのアクセス強化
②鉄道駅への地域拠点機能の集積
③生活基盤施設の整備

広域道路ネットワークの整備と連携したまちづくり

①幹線道路ネットワークの充実

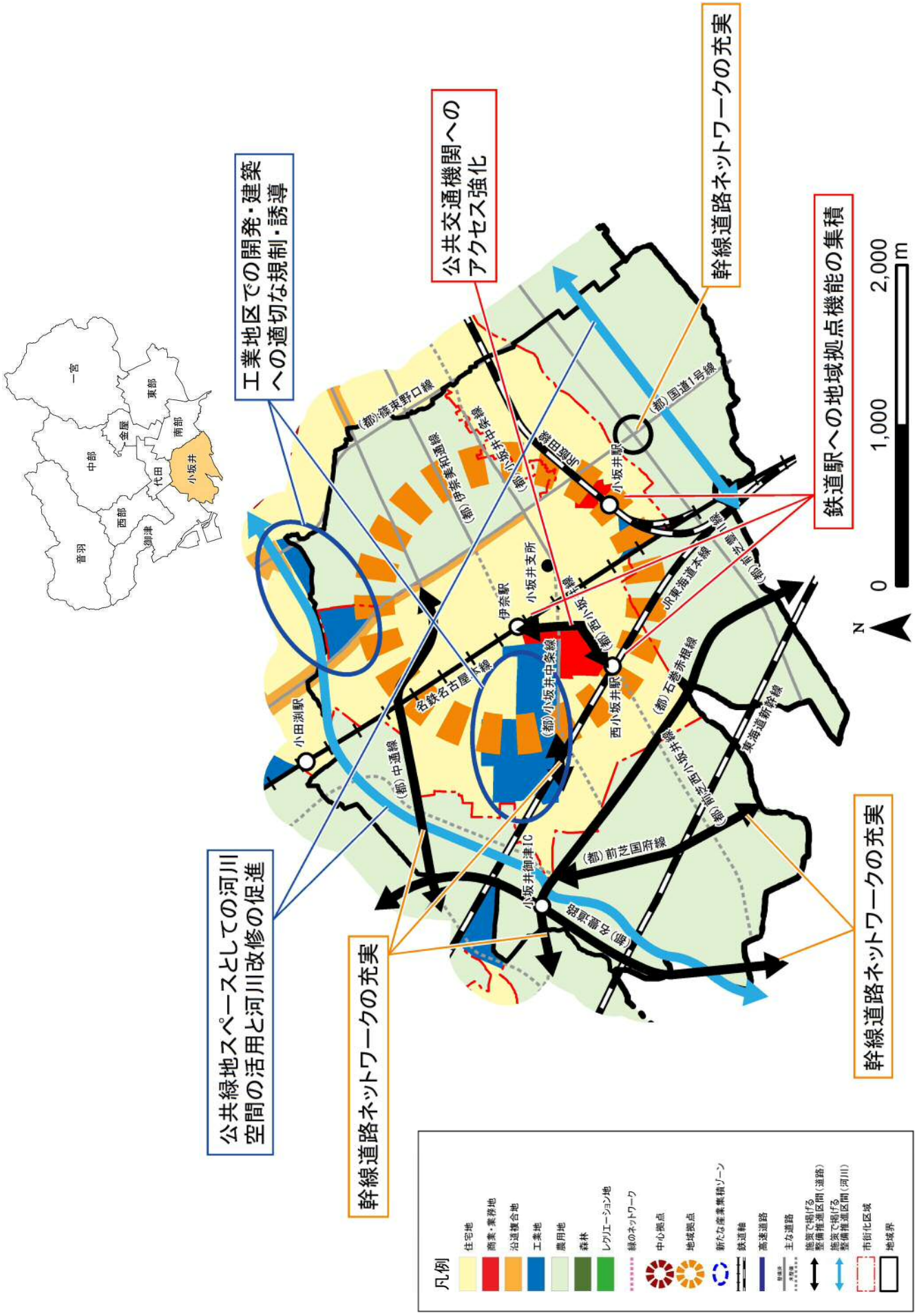
緑が映える景観とうるおいある居住空間の整備

①公共緑地スペースとしての河川空間の活用と河川改修の促進
②良好な住環境の形成
③工業地区での開発･建築への適切な規制･誘導

２．方針と施策

目標	方針	施策（■行政主体　◎市民協働）
交通利便性を活かしたにぎわいある地域拠点の形成	①公共交通機関へのアクセス強化	■ 交通結節点となる名鉄伊奈駅、ＪＲ西小坂井駅、ＪＲ小坂井駅へのアクセスを高めるため、関連する道路整備の課題などについて検討します。
	②鉄道駅への地域拠点機能の集積	■ 名鉄伊奈駅、ＪＲ西小坂井駅、ＪＲ小坂井駅の各周辺地区について、住民生活を支える商業機能の集積を図ります。 ■ 名鉄伊奈駅における駅前広場、ＪＲ西小坂井駅における駅前広場および連絡通路の整備のあり方を検討します。
	③生活基盤施設の整備	■ 市街地における雨水排水対策を推進します。 ■ 生活基盤施設の整備・充実が必要な新池地区の第一種低層住居専用地域については、地域の理解、協力を得ながら、まちづくりのルールづくりや必要な基盤整備について推進します。 ■ 宿白山、宿中島および佐脇原地区においては、計画的な下水道整備を推進します。 ◎ 宿・伊奈地区における土地区画整理組合の設立を支援します。 ◎ 小坂井庁舎周辺地区において、様々な活動を通して、子どもから大人まで多世代の交流を進め、地域の活性化に寄与するため、公共施設の再編・整備を促進します。
広域道路ネットワークの整備と連携したまちづくり	①幹線道路ネットワークの充実	■ 主要幹線道路の整備に向け、地域および事業主体などの関係機関に対して働きかけます。 （都）名豊道路豊橋バイパスの 4 車線化の事業促進 （都）前芝豊川線（国道 151 号・国道 247 号）と（都）国道 1 号線との立体交差化の早期事業着手 ■ 地域間ネットワークを構成する道路の整備に向け、地域および事業主体などの関係機関に対して働きかけます。 （都）中通線、（都）石巻赤根線、（都）前芝国府線の早期事業着手 県道小坂井御津線（平坂街道踏切改良）の事業促進
緑が映える景観とうるおいある居住空間の整備	①公共緑地スペースとしての河川空間の活用と河川改修の促進	■ 本市の市街地を縦貫する緑のネットワークとして、佐奈川の親水空間としての機能充実を推進します。 ■ 善光寺川、佐奈川の河川改修を促進します。
	②良好な住環境の形成	■ 市街化区域内の住宅地において、地域の理解・協力を得ながら、良好な住環境を保全するためのルールづくりと、必要な都市基盤施設整備のあり方について検討します。
	③工業地区での開発･建築への適切な規制・誘導	■ 市街地内の工業地区については、住工混在化による環境悪化を招かないよう、開発・建築にあたっては適切な規制・誘導を図ります。

３．　まちづくりの方針図


工業地区での開発・建築への適切な規制・誘導
公共交通機関へのアクセス強化
幹線道路ネットワークの充実
鉄道駅への地域拠点機能の集積
公共緑地スペースとしての河川空間の活用と河川改修の促進
幹線道路ネットワークの充実
幹線道路ネットワークの充実
一宮
東部
金屋
南部
中部
代田
小坂井
西部
御津
音羽
(都)篠束野口線
(都)伊奈美和通線
(都)小坂井中条線
JR飯田線
小坂井駅
(都)国道1号線
小坂井支所
伊奈駅
名鉄名古屋本線
(都)小坂井中条線
(都)国道1号線
西小坂井駅
JR東海道本線
(都)石巻赤根線
東海道新幹線
小田渕駅
(都)中通線
小坂井御津IC
(都)前芝国府線
(都)名鉄豊橋線
N
0
1,000
2,000
m
凡例
住宅地
商業・業務地
沿道複合地
工業地
農用地
森林
レクリエーション地
緑のネットワーク
中心拠点
地域拠点
新たな産業集積ゾーン
鉄道軸
高速道路
主な道路
施策で掲げる整備推進区間（道路）
施策で掲げる整備推進区間（河川）
市街化区域
地域界